対象校No.　　学校コード F113310104009
注4　　注3

設置年度　令和　2年度

届出

計画の区分：　学部の学科の設置
注1

注2
東京医療保健大学　立川看護学部　看護学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
（改正前大学設置基準適用）

学校法人青葉学園
令和７年５月１日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	立川事務部
職名・氏名	部長（ブチョウ）　大門龍生（ダイモンタツオ） 部長代理（ブチョウダイリ）・内田智明（ウチダトモアキ）
電話番号	042-521-7201
（夜間）	設置なし
e－mail	tachikawa-jimu@thcu.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」
３　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
４　対象校No.については、「【別紙】令和７年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

立川看護学部

＜看護学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18

４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　19

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20

６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　33

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　34

1　調査対象大学等の概要等

（1） 設　置　者

学校法人青葉学園

（2） 大　学　名

東京医療保健大学

（3） 調査対象大学等の位置

〒190-8590
東京都立川市緑町3256
（〒141-8648　東京都品川区東五反田4-1-17）

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4） 管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ タムラ　テツオ ） 田村　哲夫 （平成14年4月）	（ タムラ　トシアキ ） 田村　聡明 （令和7年4月）	変更理由：前理事長が退任されたため。 変更年月日：令和7年4月1日 （報告年度：令和7年度）
学　　長	（キムラ　サトシ） 木村　哲 （平成25年4月）	（カマヤマ　シュウジ） 亀山　周二 （令和3年4月）	変更理由：木村学長満期退任のため。 変更年月日：令和3年4月1日 （報告年度：令和3年度）
学 部 長	（ヤマニシ　フミコ） 山西　文子 （平成25年4月）	（オサダ　ケイコ） 長田　恵子 （令和4年6月）	学部長が東が丘看護学部長と兼任だったことから長田恵子が立川看護学部長に就任。
学科長等			

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してくだ
（例）令和６年度に報告済の内容　→（６）
令和７年度に報告する内容　→（７）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和３年度開設の４年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和７年度までの５年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が６年を越え、様式に変更が必要な場合は、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
立川看護学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係 （看護学関係）	4 年	100 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	400 人		

（注）・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の２））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

（５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 － (100) [－]	人	人 － (100) [－]	人	人 (100) [ ]	人	人 (100) [ ]	人	人 (100) [ ]	人	人 (100) [ ]	人		1.20倍	倍	
志願者数	656 (－) [－]	－ (－) [－]	733 (－) [－]	－ (－) [－]	750 ( ) [ ]	( ) [ ]	620 ( ) [ ]	( ) [ ]	602 ( ) [ ]	( ) [ ]	704 ( ) [ ]	( ) [ ]	春季入学以外の入学時期と入学定員内訳			
受験者数	605 (－) [－]	－ (－) [－]	697 (－) [－]	－ (－) [－]	689 ( ) [ ]	( ) [ ]	561 ( ) [ ]	( ) [ ]	577 ( ) [ ]	( ) [ ]	655 ( ) [ ]	( ) [ ]				
合格者数	237 (－) [－]	－ (－) [－]	283 (－) [－]	－ (－) [－]	247 ( ) [ ]	( ) [ ]	233 ( ) [ ]	( ) [ ]	217 ( ) [ ]	( ) [ ]	287 ( ) [ ]	( ) [ ]				
B 入学者数	118 (－) [－]	－ (－) [－]	123 (－) [－]	－ (－) [－]	114 ( ) [ ]	( ) [ ]	117 ( ) [ ]	( ) [ ]	115 ( ) [ ]	( ) [ ]	135 ( ) [ ]	( ) [ ]				
入学定員超過率 B／A	1.18		1.23		1.14		1.17		1.15		1.35					

（注）・ 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
・ （ ）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。
該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [ ]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。
春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。
なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和８年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・ 「（５）－② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「４ 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年＼対象年度	令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	118 [－] (－)	－ [－] (－)	122 [－] 1	－ [－] (－)	116 [ ] (－)	[ ] ( )	118 [ ] (3)	[ ] ( )	115 [ ] ( )	[ ] ( )	136 [ ] 1	[ ]	[ ]内には、留学生の状況について、( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。
２年次			117 [－] (1)	－ [－] (－)	120 [－] (2)	－ [－] (－)	123 [ ] (6)	[ ] ( )	115 [ ] 1	[ ] 1	112 [ ] ( )	[ ] ( )	
３年次					114 [－] (1)	－ [－] (－)	114 [－] (3)	－ [－] (－)	111 [ ] (3)	[ ] 1	116 [ ] ( )	[ ] ( )	
４年次							117 [－] (－)	－ [－] (－)	111 [－] (－)	－ [－] (－)	110 [ ] ( )	[ ] ( )	
計	118 [－] (－)		239 [－] 2		350 [－] (3)		460 [－] 12		456 [－] 2		474 [－] 1		

(注)・ 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ [　]内には、留学生の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・ (　) 内には、留年者の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	退学者数	うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
令和2年度	118 人	0 人	令和2年度	人	－ 人	
令和3年度	239 人	2 人	令和2年度	1 人	－ 人	進路変更(1人)
			令和3年度	1 人	－ 人	進路変更
令和4年度	350 人	5 人	令和2年度	2 人	人	学生個人の心身に関する事情(2人)
			令和3年度	3 人	人	進路変更(3人)
			令和4年度	0 人	人	
令和5年度	460 人	12 人	令和2年度	3 人	人	学力不足(2)進路変更(1人)
			令和3年度	8 人	人	学生個人の心身に関する事情(2人) 就学意欲の低下(2人)進路変更(4人)
			令和4年度	1 人	人	進路変更(1人)
			令和5年度	0 人	人	就学意欲の低下(2人)
令和6年度	456 人	17 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	12 人	人	進路変更(8人)就学意欲の低下(3人)　除籍(1人)
			令和4年度	3 人	人	進路変更(3人)
			令和5年度	2 人	人	就学意欲の低下(2人)
			令和6年度	0 人	人	
令和7年度	475 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	人	人	
合　計		36 人		36 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の５月１日現在の数字を記入してください。　（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・修学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{118} = 0\ \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{2}{241} = 0.82\ \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{5}{355} = 1.4\ \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{12}{472} = 2.54\ \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{17}{473} = 3.59\ \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{475} = 0\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜立川看護学部　看護学科＞

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
基礎分野	人間を尊重し人権を擁護する能力	文化人類学	1前		1							1
		哲学	1前		1							1
		倫理学	1前		1							1
		社会学	1前		1							1
		法学	1後		1							1
	人間関係を形成する能力	人間関係論	1前	1								1
		心理学	1前	1								1
		実用英語Ⅰ	1前	2								4
		実用英語Ⅱ	1後	2								4
		実用医療・看護英語	2前	2								4
		中国語	1前		1							1
		スペイン語	1前		1							1
	健康問題の解決	スポーツ科学	1後		2							1
		教育学	2前	2								1
		社会保障制度概論	2前		1							1
	[illegible]	災害ボランティア論	2後		1		1	1	1	1		
	看護探求能力	情報リテラシー	1前	1								1
		論理学	1前	1								1
		自然科学の基礎	1前	1				1	1	1		
		統計学	2前	2								1
		小計（20科目）	－	15	11	0	1	1	1	1		19
専門基礎分野	[illegible]	医療と法（看護関係法規）	2前	1								1
	健康問題の解決	医学概論	1前	1								1
		解剖生理学Ⅰ	1前	2								1
		解剖生理学Ⅱ	1前	2								1
		病理学	1後	2								1
		生化学	1後	1								1
		微生物学	1前	1								1
		薬理学	1後	1								1
		疾病と治療Ⅰ（呼吸器系・消化器系）	1後	2								2
		疾病と治療Ⅱ（血液系・循環器系）	1後	2								2
		疾病と治療Ⅲ（神経系・骨筋系）	2前	2								2
		疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・生殖器系・内分泌系）	2前	2			1					1
		疾病と治療Ⅴ（感覚器系・統合）	2後	2								1
		疾病と治療Ⅵ（精神系）	2後	1								1
		臨床検査学演習	2後	1				1	1	1		
		臨床栄養学演習	2後	1								1
		臨床薬理学演習	2後	1								1
		公衆衛生学	2前	2				1				
		人間工学	2前		1							1
	[illegible]	保健医療福祉システム論	2前		1			1				1
		政策医療論	2後	1								1
	[illegible]	医療・看護情報学の基礎	2前	1				1				
		医療・看護論文の講読	2後	1				1				
		小計（23科目）	－	30	2	0	1	1	1	1		21
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1前	1			1					
		看護倫理	1後	1			1					
		看護理論	2後	1			1		1	2	1	
		看護学体験実習	1前	1			1		1	10	3	
	基礎看護技術学	看護実践技術論Ⅰ（日常生活における援助技術と判断）	1前	2			1		1	2		
		看護実践技術論Ⅱ（治療・処置における援助技術と判断）	1後	1			1		1	2		
		看護実践技術論Ⅲ（看護技術の統合）	1後	1			1		1	2		
		ヘルスアセスメント	1前	1			1		1	2		
	基礎看護技術学	フィジカルアセスメント	1後	1			1		1	2		
		看護過程と看護方法論	1後	1			1		1	2	3	
		日常生活援助展開実習	1後	1			1		1	10	3	
		看護過程展開実習	2前	2			1		1	10	3	
	臨床実践看護学	成人看護学概論	1後	1			1	1	1			
		急性期看護論	3前	2				1		2		
		慢性期看護論	2前	2					2	1		
		成人・老年看護実践論	3前	2			1	1	2	3	1	
		成人看護学実習Ⅰ（急性期）	3後	2				1	2	2		
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	3後	2				1	2	3		
		成人看護学実習Ⅲ（終末期）	3後	2				1	2	2		
		老年看護学概論	1後	1					1			
		老年期看護論	2前	1					1	1		
		老年看護実践論	2前	1					1	2		
		老年看護学実習Ⅰ（地域で暮らす高齢者の看護）	2後	2					1	1		
		老年看護学実習Ⅱ（病と生きる高齢者の看護）	3後	2						1		
		母性看護学概論	2後	2			1		1	1		
		母性看護実践論	3前	2			1		1	1		
		母性看護学実習	3後	2			1		1	1		
		小児看護学概論	2後	2			1		1			
		小児看護実践論	3前	2			1		1	1		
		小児看護学実習	3後	2			1		1	1		
		精神看護学概論	2後	1			1		1		1	
		精神看護実践論	3前	2			1		1		1	
		精神看護学実習	3後	2			1		1		1	
		臨床コミュニケーション論	2前	1			1		1		1	
		障害者看護論	3後	1			1		1		1	

【令和２年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
基礎分野	人間を尊重し人権を擁護する能力	文化人類学	1前		1							1
		哲学	1前		1							1
		倫理学	1前		1							1
		社会学	1前		1							1
		法学	1後		1							1
	人間関係を形成する能力	人間関係論	1前	1								1
		心理学	1前	1								1
		実用英語Ⅰ	1前	2								4
		実用英語Ⅱ	1後	2								4
		実用医療・看護英語	2前	2								4
		中国語	1前		1							1
		スペイン語	1前		1							1
	健康問題の解決	スポーツ科学	1後		2							1
		教育学	2前	2								1
		社会保障制度概論	2前		1							1
	[illegible]	災害ボランティア論	2後		1		1	1	1	2		
	看護探求能力	情報リテラシー	1前	1								1
		論理学	1前	1								1
		自然科学の基礎	1前	1				1	1	2		
		実践統計学	2前	2								1
		小計（20科目）	－	15	11	0	1	1	1	2		18
専門基礎分野	[illegible]	医療と法（看護関係法規）	2前	1								1
		医学概論	1前	1								1
		解剖生理学Ⅰ	1前	2								1
		解剖生理学Ⅱ	1前	2								1
		病理学	1後	2								1
		生化学	1後	1								1
		微生物学	1前	1								1
		薬理学	1後	1								1
		疾病と治療Ⅰ（呼吸器系・消化器系）	1後	2								2
		疾病と治療Ⅱ（血液系・循環器系）	1後	2								2
		疾病と治療Ⅲ（神経系・骨筋系）	2前	2								2
		疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・生殖器系・内分泌系）	2前	2			1					1
		疾病と治療Ⅴ（感覚器系・統合）	2後	2								1
		疾病と治療Ⅵ（精神系）	2後	1								1
		臨床検査学演習	2後	1				1	1	2		
		臨床栄養学演習	2後	1								1
		臨床薬理学演習	2後	1				1				
		公衆衛生学	2前	2				1				
		人間工学	2前		1							1
	[illegible]	保健医療福祉システム論	2前		1			1				1
		政策医療論	2後	1			1					
	[illegible]	医療・看護情報学の基礎	2前	1				1				
		医療・看護論文の講読	2後	1				1				
		小計（23科目）	－	30	2	0	2	1	1	2		20
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1前	1			1					
		看護倫理	1後	1			1					
		看護理論	2後	1			1			3		
		看護学体験実習	1前	1			2			12	2	
	基礎看護技術学	看護実践技術論Ⅰ（日常生活における援助技術と判断）	1前	2			2			3		
		看護実践技術論Ⅱ（治療・処置における援助技術と判断）	1後	1			2			3		
		看護実践技術論Ⅲ（看護技術の統合）	1後	1			2			3		
		ヘルスアセスメント	1前	1			2			3		
	基礎看護技術学	フィジカルアセスメント	1後	1			2			3		
		看護過程と看護方法論	1後	1			2			3	0	
		日常生活援助展開実習【臨】	1後	1			2			12	2	
		看護過程展開実習	2前	2			2			12	2	
	臨床実践看護学	成人看護学概論	1後	1			1	1	1			
		急性期看護論	3前	2				1		2		
		慢性期看護論	2前	2					2	1		
		成人・老年看護実践論	3前	2			2	1	2	2	2	
		成人看護学実習Ⅰ（急性期）	3後	2				1	2	2		
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	3後	2				1	2	3		
		成人看護学実習Ⅲ（終末期	3後	2			1	1	2	2		
		老年看護学概論	1後	1			1		1			
		老年期看護論	2前	1			1		1	1		
		老年看護実践論	2前	1			1		1	2		
		老年看護学実習Ⅰ（地域で暮らす高齢者の看護）	2後	2			1		1	1		
		老年看護学実習Ⅱ（病と生きる高齢者の看護）	3後	2			1			1		
		母性看護学概論	2後	2			1		1	1		
		母性看護実践論	3前	2			1		1	1		
		母性看護学実習	3後	2			1		1	1		
		小児看護学概論	2後	2			1		1			
		小児看護実践論	3前	2			1		1	1		
		小児看護学実習	3後	2			1		1	1		
		精神看護学概論	2後	1			1	1		1		
		精神看護実践論	3前	2			1	1		1		
		精神看護学実習	3後	2			1	1		1		
		臨床コミュニケーション論	2前	1			1	1		1		
		障害者看護論	3後	1			1	1		1		

		小計（37科目）	－	53			5	1	6	10	3	0
統合分野	在宅看護学	家族看護学	2後	1			1		1	2		
		在宅看護学概論	3前	2			1		1	2		
		在宅看護実践論Ⅰ（在宅における看護技術と危機管理）	3後	1			1		1	2		
		在宅看護実践論Ⅱ（地域におけるケアシステムと連携）	4前	1			1		1	2		
		在宅看護学実習	4前	2			1		1	2		
	地域看護学	地域看護学概論	2後	1			1		1	2		
		自立支援教育論	2後	1			1		1	2		
		疾病予防看護学	2後	1			1		1	2		
	災害看護学	災害看護学Ⅰ	1前	1			1					
		災害看護学Ⅱ	2後	1			1		1	2		
		災害看護学Ⅲ	3前	2			2	1	1	2		
		災害看護学実習	4前	1			6	2	8	10		
	看護研究	看護研究の基礎	3前	1				1	1	1		
		英語論文のクリティーク	3後	1			6	2	8	10		
		災害看護学に関する卒業研究	4通	3			7	2	8	10		
	統合看護学	看護管理学	3前	1								1
		医療安全学	3前	1			1		1			
		国際看護学	3前	1				1	1	1		
		看護学統合実習	4前	2			6	2	8	10		
		コミュニティ形成論	4後		1		1	1				
		チーム医療論	4後		1				1			
		看護職とキャリア形成	4後		1							1
		看護教育学	4後		1		1					
		看護政策論	4後		1							
		小計（22科目）	－	25	5	0	7	2	8	10	0	2
		合計（102科目）	－	123	18	0	7	2	8	10	3	42

卒業要件及び履修方法

「基礎分野」については15単位、「専門基礎分野」については30単位、「専門分野」については53単位、「統合分野」については25単位、上記4分野からの選択科目6単位の合計129単位以上とする。（履修科目の登録の上限：45単位(年間)）

		小計（37科目）	－	53			5	5	5	12	2	0
統合分野	在宅看護学	家族看護学	2後	1			1		1	2		
		在宅看護学概論	3前	2			1		1	2		
		在宅看護実践論Ⅰ（在宅における看護技術と危機管理）	3後	1			1		1	2		
		在宅看護実践論Ⅱ（地域におけるケアシステムと連携）	4前	1			1		1	2		
		在宅看護学実習	4前	2			1		1	2		
	地域看護学	地域看護学概論	2後	1			1		1	2		
		自立支援教育論	2後	1			1		1	2		
		疾病予防看護学	2後	1			1		1	2		
	災害看護学	災害看護学Ⅰ	1前	1			1					
		災害看護学Ⅱ	2後	1			1		1	2		
		災害看護学Ⅲ	3前	2			2	2	1	2		
		災害看護学実習	4前	1			8	3	6	12		
	看護研究	看護研究の基礎	3前	1			8	1	1	1		
		英語論文のクリティーク	3後	1				3	6	12		
		災害看護学に関する卒業研究	4通	3			9	3	6	12		
	統合看護学	看護管理学	3前	1			1					
		医療安全学	3前	1			1		1	2		
		国際看護学	3前	1				1	1	2		
		看護学統合実習	4前	2			8	3	6	12		
		コミュニティ形成論	4後		1		1	1				
		チーム医療論	4後		1		2	1	1	1		
		看護職とキャリア形成	4後		1							1
		看護教育学	4後		1		1					
		看護政策論	4後		1		1					
		小計（22科目）	－	25	5	0	9	3	6	12	0	1
		合計（102科目）	－	123	18	0	9	3	6	12	2	39

卒業要件及び履修方法

「基礎分野」については15単位、「専門基礎分野」については30単位、「専門分野」については53単位、「統合分野」については25単位、上記4分野からの選択科目6単位の合計129単位以上とする。（履修科目の登録の上限：45単位(年間)）

【令和３年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
基礎分野	人間を尊重し人権を擁護する能力	文化人類学	1前		1							1
		哲学	1前		1							1
		倫理学	1前		1							1
		社会学	1前		1							1
		法学	1後		1							1
	人間関係を形成する能力	人間関係論	1前	1								1
		心理学	1前	1								1
		実用英語Ⅰ	1前	2								4
		実用英語Ⅱ	1後	2								4
		実用医療・看護英語	2前	2								4
		中国語	1前		1							1
		スペイン語	1前		1							1
	健康問題の解決	スポーツ科学	1後		2							1
		教育学	2前	2								1
		社会保障制度概論	2前		1							1
		災害ボランティア論	2後		1		1	1	1	2		
	看護探求能力	情報リテラシー	1前	1								1
		論理学	1前	1								1
		自然科学の基礎	1前	1				1	1	2		
		統計学	2前	2								1
		小計（20科目）	–	15	11	0	1	1	1	2		18
専門基礎分野		医療と法（看護関係法規）	2前	1								1
	健康問題の解決	医学概論	1前	1								1
		解剖生理学Ⅰ	1前	2								1
		解剖生理学Ⅱ	1前	2								1
		病理学	1後	2								1
		生化学	1後	1								1
		微生物学	1前	1								1
		薬理学	1後	1								1
		疾病と治療Ⅰ（呼吸器系・消化器系）	1後	2								2
		疾病と治療Ⅱ（血液系・循環器系）	1後	2								2
		疾病と治療Ⅲ（神経系・骨筋系）	2前	2								2
		疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・生殖器系・内分泌系）	2前	2			1					1
		疾病と治療Ⅴ（感覚器系・統合）	2後	2								1
		疾病と治療Ⅵ（精神系）	2後	1								1
		臨床検査学演習	2後	1				1	1	2		
		臨床栄養学演習	2後	1								1
		臨床薬理学演習	2後	1				1	1	2		
		公衆衛生学	2前	2				1	1	1		
		人間工学	2前		1							1
	連携・協働する能力	保健医療福祉システム論	2前		1			1				1
		政策医療論	2後	1			1					
	看護探求能力	医療・看護情報学の基礎	2前	1				1				
		医療・看護論文の講読	2後	1				1				
		小計（23科目）	–	30	2	0	2	1	1	2		20
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1前	1			1					
		看護倫理	1後	1			1					
		看護理論	2後	1			2		1	3		
		看護学体験実習	1前	1			2		1	12	2	
	基礎看護技術学	看護実践技術論Ⅰ（日常生活における援助技術と判断）	1前	2			2		1	3		
		看護実践技術論Ⅱ（治療・処置における援助技術と判断）	1後	1			2		1	3		
		看護実践技術論Ⅲ（看護技術の統合）	1後	1			2		1	3		
		ヘルスアセスメント	1前	1			2		1	3		
	基礎看護技術学	フィジカルアセスメント	1後	1			2		1	3		
		看護過程と看護方法論	1後	1			2		1	3	0	
		日常生活援助展開実習【臨】	1後	1			2		1	12	2	
		看護過程展開実習	2前	2			2		1	12	2	
	臨床実践看護学	成人看護学概論	1後	1			1	1	1			
		急性期看護論	3前	2				1		2		
		慢性期看護論	2前	2			1		1			
		成人・老年看護実践論	3前	2			2	2	2	2	2	
		成人看護学実習Ⅰ(急性期)	3後	2				1	2	2	1	
		成人看護学実習Ⅱ(慢性期)	3後	2				1	2	3	1	
		成人看護学実習Ⅲ(終末期	3後	2			1	1	2	2	1	
		老年看護学概論	1後	1			1		1			
		老年期看護論	2前	1				1	1	1		
		老年看護実践論	2前	1				1	1	2		
		老年看護学実習Ⅰ（地域で暮らす高齢者の看護）	2後	2			1	1	1	2		
		老年看護学実習Ⅱ（病と生きる高齢者の看護）	3後	2				1	2	2	1	
		母性看護学概論	2後	2			1		1	1		

【令和４年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
基礎分野	人間を尊重し人権を擁護する能力	文化人類学	1前		1							1
		哲学	1前		1							1
		倫理学	1前		1							1
		社会学	1前		1							1
		法学	1後		1							1
		死生学	1後	1								1
	人間関係を形成する能力	人間関係論	1前	1								1
		心理学	1前	1								1
		実用英語Ⅰ	1前	2								4
		実用英語Ⅱ	1後	2								4
		実用医療・看護英語	2前	2								4
		中国語	1前		1							1
		スペイン語	1前		1							1
	健康問題の解決	スポーツ科学	1後		2							1
		教育学	2前	2								1
		社会保障制度概論	2前		1							1
		災害ボランティア論	2後		1		1	1	1	2		
	看護探求能力	情報リテラシー	1前	1								1
		論理学	1前	1								1
		自然科学の基礎	1前	1				1	1	1		
		実践統計学	1後	2				1				1
		小計（21科目）	–	16	3	0	1	1	1	2		16
専門基礎分野		医療と法（看護関係法規）	2前	1								1
	健康問題の解決	医学概論	1前	1								1
		解剖生理学Ⅰ	1前	2								1
		解剖生理学Ⅱ	1前	2								1
		病理学	1後	2								1
		生化学	1後	1								1
		微生物学	1前	1								1
		薬理学	1後	1								1
		疾病と治療Ⅰ（呼吸器系・消化器系）	1後	2								2
		疾病と治療Ⅱ（血液系・循環器系）	1後	2								2
		疾病と治療Ⅲ（神経系・骨筋系）	2前	2								1
		疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・生殖器系・内分泌系）	2前	2			1					2
		疾病と治療Ⅴ（感覚器系・統合）	2後	2								2
		疾病と治療Ⅵ（精神系）	2後	1								1
		臨床栄養学演習	2後	1								1
		臨床薬理学演習	2後	1				1	1	2		
		臨床検査学演習	2後	1				1	1	2		
		疫学・保健統計	1後	1				1				1
		公衆衛生学	2前	2				1	1	1		
		人間工学	2前		1							1
	連携・協働する能力	保健医療福祉システム論	2前	1				1				1
		政策医療論	2後	1			1					
	看護探求能力	医療・看護情報学の基礎	2前	1				1				
		医療・看護論文の講読	2後	1				1	1	2		
		小計（24科目）	–	32	1	0	2	1	1	2		16
	基礎看護学	看護学概論	1前	1			1					
		看護倫理	1後	1				1				
		看護理論	2後	1			1	1	1	1		
		看護学体験実習	1前	1			1	1	1	9	1	
	基礎看護技術学	看護実践技術論Ⅰ（日常生活における援助技術と判断）	1前	2			1	1	1	3		
		看護実践技術論Ⅱ（治療・処置における援助技術と判断）	1後	1			1	1	1	1		
		看護実践技術論Ⅲ（看護技術の統合）	1後	1			1	1	1	1		
		ヘルスアセスメント	1前	1			1	1	1	3		
		コミュニケーション技法	1後	1				1				
		フィジカルアセスメント	1後	1				1				
		看護過程と看護方法論	1後	1			1	1	1	1		
		日常生活援助展開実習【臨】	1後	1			1	1	1	9	1	
		看護過程展開実習	2前	2			1	1	1	9	1	
	地域・在宅看護学	家族看護学	2前	1			1	1		1		
		地域・在宅看護学概論	1後	1			1	1		1		
		地域・在宅看護支援論	2後	2			1					
		地域・在宅看護実践論Ⅰ（在宅における看護技術と危機管理）	3後	1			1	1	1	1		
		地域・在宅看護実践論Ⅱ（地域におけるケアシステムと連携）	4前	1			1		1	2		
		地域・在宅看護学実習	4前	2			1		1	2		
		自立支援教育論	2後	1			1	1		1		
		疾病予防看護学	2後	1			1		1	2		
		成人看護学概論	1後	1			1	1	1			
		急性期看護論	3前	2				1		2		

		母性看護実践論	3前	2			1		1	1		
		母性看護学実習	3後	2			1		1	1		
		小児看護学概論	2後	2			1		1		1	
		小児看護実践論	3前	2			1		1		1	
		小児看護学実習	3後	2			1		1		1	
		精神看護学概論	2後	1			1	1		1		
		精神看護実践論	3前	2			1	1		1		
		精神看護学実習	3後	2			1	1		1		
		臨床コミュニケーション論	2前	1			1	1		1		
		障害者看護論	3後	1			1	1		1		
	小計（37科目）		－	53			5	5	5	12	2	0
統合分野	在宅看護学	家族看護学	2後	1			1		1	2		
		在宅看護学概論	3前	2			1		1	2		
		在宅看護実践論Ⅰ（在宅における看護技術と危機管理）	3後	1			1		1	2		
		在宅看護実践論Ⅱ（地域におけるケアシステムと連携）	4前	1			1		1	2		
		在宅看護学実習	4前	2			1		1	2		
	地域看護学	地域看護学概論	2後	1			1		1	2		
		自立支援教育論	2後	1			1		1	2		
		疾病予防看護学	2後	1			1		1	2		
	災害看護学	災害看護学Ⅰ	1前	1			1					
		災害看護学Ⅱ	2後	1			2		1	2	1	
		災害看護学Ⅲ	3前	2			2	2	1	2		
		災害看護学実習	4前	1			8	3	6	12		
	看護研究	看護研究の基礎	3前	1			7	1	1	2		
		英語論文のクリティーク	3後	1			7	4	7	10		
		災害看護学に関する卒業研究	4通	3			8	4	7	10		
	統合看護学	看護管理学	3前	1			1					
		医療安全学	3前	1			1		2	1		
		国際看護学	3前	1			1	1	1	3		
		看護学統合実習	4前	2			9	4	7	10		
		コミュニティ形成論	4後		1		1	1				
		チーム医療論	4後		1		1	1		1	1	
		看護職とキャリア形成	4後		1		1					
		看護教育学	4後		1		1		1			
		看護政策論	4後		1		1				1	
	小計（22科目）		－	25	5	0	9	3	6	12	0	1
合計（102科目）			－	123	18	0	9	3	6	12	2	39

卒業要件及び履修方法

「基礎分野」については15単位、「専門基礎分野」については30単位、「専門分野」については53単位、「統合分野」については25単位、上記4分野からの選択科目6単位の合計129単位以上とする。（履修科目の登録の上限：45単位(年間)）

専門分野	臨床実践看護学	慢性期看護論	2前	2			1		1			
		成人看護/老年看護実践論（A成人看護論・B老年看護論）	3前	2			1	2	3	2	2	
		成人看護学実習Ⅰ（急性期）	3後	2				1	1	2		
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	3後	2				1	3	1		
		老年看護学概論	1後	1			1	1	2			
		老年期看護論	2前	1				1	2			
		老年看護実践論	2前	1				1	2	2		
		老年看護学実習Ⅰ（地域で暮らす高齢者の看護）	2後	2			1	1	2			
		老年看護学実習Ⅱ（病と生きる高齢者の看護）	3後	2				1	2	2	1	
		母性看護学概論	2後	2			1	1		1		
		母性看護実践論	3前	2			1	1		1		
		母性看護学実習	3後	2			1		1	1		
		小児看護学概論	2後	2			1		1		1	
		小児看護実践論	3前	2			1		1			
		小児看護学実習	3後	2			1		1			
		精神保健	2前	1								
		精神看護学概論	2後	1			1	1		1		
		精神看護実践論	3前	2			1	1		1		
		精神看護学実習	3後	2			1	1		1		
		障害者看護論	3後	1			1	1		1		
	小計（43科目）		－	62			6	6	7	9	1	0
	災害看護学	災害看護学Ⅰ	1前	1			1					
		災害看護学Ⅱ	2後	1			2		1	2		
		災害看護学Ⅲ	3前	2			2	2	1	2		
		災害看護学実習	4前	1								
	看護研究	看護研究の基礎	3前	1				1	1	2		
		英語論文のクリティーク	3後	1			6	4	7	9		
		災害看護学に関する卒業研究	4通	3								
	統合看護学	看護管理学	3前	1			1			1		
		医療安全学	3前	1			1		2	1		
		国際看護学	3前	1			1	1	1	2		
		看護学統合実習	4前	2								
		コミュニティ形成論	4後		1							
		チーム医療論	4後		1							
		看護職とキャリア形成	4後		1							
		看護教育学	4後		1							
		看護政策論	4後		1							
	小計（16科目）		－	15	2	0	6	6	7	9	1	0
合計（104科目）			－	125	5	0	9	3	6	12	2	32

卒業要件及び履修方法

「基礎分野」については16単位、「専門基礎分野」については32単位、「専門分野」については77単位、上記3分野からの選択科目5単位の合計130単位以上とする。（履修科目の登録の上限：45単位(年間)）

【令和５年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎分野	人間を尊重し、人間を理解する能力	文化人類学	1前		1							1
		哲学	1前		1							1
		倫理学	1前		1							1
		社会学	1前		1							1
		法学	1後		1							1
		死生学	1後	1								1
	人間関係を形成する能力	人間関係論	1前	1								1
		心理学	1前	1								1
		実用英語Ⅰ	1前	2					1			3
		実用英語Ⅱ	1後	2					1			3
		実用医療・看護英語	2前	2					1			3
		中国語	1前		1							1
		スペイン語	1前		1							1
	豊かな社会の実現	スポーツ科学	1後		2							1
		教育学	2前	2								1
		社会保障制度概論	2前		1							1
	災害ボランティア	災害ボランティア論	2後		1			1				
	看護学を学ぶ力	情報リテラシー	1前	1								1
		論理学	1前	1								1
		自然科学の基礎	1前	1			1	1	2			
		実践統計学	1後	2			1	1	2			
		小計（21科目）	－	16	3	0	1	2	3			18
専門基礎分野	人間を尊重し、人間を理解する能力	医療と法（看護関係法規）	2前	1								1
	健康問題の解決	医学概論	1前	1			1					
		解剖生理学Ⅰ	1前	2			1					2
		解剖生理学Ⅱ	1前	2								1
		病理学	1後	2								4
		生化学	1後	1								1
		微生物学	1前	1								1
		薬理学	1後	1								1
		疾病と治療Ⅰ（呼吸器系・消化器系）	1後	2								2
		疾病と治療Ⅱ（血液系・循環器系）	1後	2								3
		疾病と治療Ⅲ（神経系・骨筋系）	2前	2								3
		疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・生殖器系・内分泌系）	2前	2								1
		疾病と治療Ⅴ（感覚器系・統合）	2後	2								1
		疾病と治療Ⅵ（精神系）	2後	1								1
		臨床栄養学演習	2後	1								1
		臨床薬理学演習	2後	1			1	1	2			
		臨床検査学演習	2後	1				1	2			
		疫学・保健統計	1後	1			1	1	2			
		公衆衛生学	2前	2			1	1	2			
		人間工学	2前		1							1
	連携・協働する能力	保健医療福祉システム論	2前	1								1
		政策医療論	2後	1			1	1	2			
	看護情報を活用する能力	医療・看護情報学の基礎	2前	1			1	1	2			
		医療・看護論文の講読	2後	1			1	1	2			
		小計（24科目）	－	32	1	0	2	1	2			20
専門分野	基礎看護学	看護学	1前	1			1					
		看護倫	1後	1				1				
		看護理	2後	1			1					
		看護学体験実習	1前	1			1	1	2		2	
	基礎看護技術学	看護実践技術論Ⅰ（日常生活における援助技術と判断）	1前	2			1	1	2	1		
		看護実践技術論Ⅱ（治療・処置における援助技術と判断）	1後	1			1	1	2	1		
		看護実践技術論Ⅲ（看護技術の統合）	1後	1			1	1	2	1		
		ヘルスアセスメント	1前	1			1	1	2	1		
		コミュニケーション技法	1後	1				1				
		フィジカルアセスメント	1後	1				1				
		看護過程	1後	1				1	1	1		
		日常生活	1後	1			1	1	2		2	
		看護過程展開実習	2前	2			1	1	2		2	
	地域・在宅看護学	家族看護学	2前	1			2	1	3			
		地域・在宅看護学概論	1後	1				1	1			
		地域・在宅看護支援論	2後	2				1	1			
		地域・在宅看護実践論Ⅰ（在宅における看護技術と危機管理）	3後	1			1	1	1			
		地域・在宅看護実践論Ⅱ（地域におけるケアシステムと連携）	4前	1				1	1			1
		地域・在宅看護学実習	4前	2				1	1			
		自立支援教育論	2後	1				1	1			
		疾病予防看護学	2後	1				1	1			
	臨床実践看護学	成人看護学概論	1後	1			1	1	1			
		急性期看護論	3前	2				1	2			
		慢性期看護論	2前	2			1		1			
		成人看護/老年看護実践論（A成人看護論・B老年看護論）	3前	2			1	2	1	2	1	
		成人看護学実習Ⅰ（急性期）	3後	2				1	1	2		
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	3後	2				1	1	2		
		老年看護学概論	1後	1			1	1		1		
		老年期看護論	2前	1				1		1		
		老年看護実践論	2前	1				1		2		
		老年看護学実習Ⅰ（地域で暮らす高齢者の看護）	2後	2			1	1		1		
		老年看護学実習Ⅱ（病と生きる高齢者の看護）	3後	2				1	1	2	1	
		母性看護学概論	2後	2				1	1	1		
		母性看護実践論	3前	2				1	1	1		
		母性看護学実習	3後	2				1	1	1		
		小児看護学概論	2後	2			1	1				
		小児看護実践論	3前	2			1	1		1		
		小児看護学実習	3後	2			1	1		1		
		精神保健	2前	1			1		1	1		
		精神看護学概論	2後	1			1		1	1		

【令和６年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎分野	人間を尊重し、人間を理解する能力	文化人類学	1前		1							1
		哲学	1前		1							1
		倫理学	1前		1							1
		社会学	1前		1							1
		法学	1後		1							1
		死生学	1後	1								1
	人間関係を形成する能力	人間関係論	1前	1								1
		心理学	1前	1								1
		実用英語Ⅰ	1前	2								4
		実用英語Ⅱ	1後	2								4
		実用医療・看護英語	2前	2								4
		中国語	1前		1							1
		スペイン語	1前		1							1
	豊かな社会の実現	スポーツ科学	1後		2							1
		教育学	2前	2								1
		社会保障制度概論	2前		1							1
	災害ボランティア	災害ボランティア論	2後		1			1		1		
	看護学を学ぶ力	情報リテラシー	1前	1								1
		論理学	1前	1								1
		自然科学の基礎	1前	1			1	1	2			
		実践統計学	1後	2			1	1	2			
		小計（21科目）	－	16	10	0	2	3	4	1		（兼担27）
専門基礎分野	人間を尊重し、人間を理解する能力	医療と法（看護関係法規）	2前	1								1
	健康問題の解決	医学概論	1前	1			1					
		解剖生理学Ⅰ	1前	2			1					2
		解剖生理学Ⅱ	1前	2								2
		病理学	1後	2								4
		生化学	1後	1								1
		微生物学	1前	1								1
		薬理学	1後	1								1
		疾病と治療Ⅰ（呼吸器系・消化器系）	1後	2								2
		疾病と治療Ⅱ（血液系・循環器系）	1後	2								2
		疾病と治療Ⅲ（神経系・骨筋系）	2前	2								3
		疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・生殖器系・内分泌系）	2前	2								1
		疾病と治療Ⅴ（感覚器系・統合）	2後	2								1
		疾病と治療Ⅵ（精神系）	2後	1								1
		臨床栄養学演習	2後	1								1
		臨床薬理学演習	2後	1			1	1	1			
		臨床検査学演習	2後	1				1	2			
		疫学・保健統計	1後	1			1	1	2			
		公衆衛生学	2前	2			1	1	2			
		人間工学	2前		1							1
	連携・協働する能力	保健医療福祉システム論	2前	1								1
		政策医療論	2後	1			1	1	1			
	看護情報を活用する能力	医療・看護情報学の基礎	2前	1			1	1	2			
		医療・看護論文の講読	2後	1			1	1	2			
		小計（24科目）	－	32	1	0	8	8	12			（兼担24）
専門分野	基礎看護学	看護学	1前	1			1					
		看護倫	1後	1				1				
		看護理	2後	1			1		1			
		看護学体験実習	1前	1			1	1	1			
	基礎看護技術学	看護実践技術論Ⅰ（日常生活における援助技術と判断）	1前	2			1	1	1			
		看護実践技術論Ⅱ（治療・処置における援助技術と判断）	1後	1			1	1	1			
		看護実践技術論Ⅲ（看護技術の統合）	1後	1			1	1	1			
		ヘルスアセスメント	1前	1			1	1	1			
		コミュニケーション技法	1後	1				1				
		フィジカルアセスメント	1後	1				1				
		看護過程	1後	1				1	1	1		
		日常生活	1後	1			1	1	1			
		看護過程展開実習	2前	2			1	1	1			
	地域・在宅看護学	家族看護学	2前	1			3	2	2			
		地域・在宅看護学概論	1後	1				1	1			
		地域・在宅看護支援論	2後	2				1	1			
		地域・在宅看護実践論Ⅰ（在宅における看護技術と危機管理）	3後	1			1	1	1			
		地域・在宅看護実践論Ⅱ（地域におけるケアシステムと連携）	4前	1				1	1			
		地域・在宅看護学実習	4前	2				1	1			
		自立支援教育論	2後	1				1	1			
		疾病予防看護学	2後	1				1	1			
	臨床実践看護学	成人看護学概論	1後	1			1	1	1			
		急性期看護論	3前	2				1	1	1		
		慢性期看護論	2前	2			1		1			
		成人看護/老年看護実践論（A成人看護論・B老年看護論）	3前	2			1	2	3	1		
		成人看護学実習Ⅰ（急性期）	3後	2				1	1	2		
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	3後	2				1	2	2		
		老年看護学概論	1後	1			1	1				
		老年期看護論	2前	1					1	1		
		老年看護実践論	2前	1				1	2			
		老年看護学実習Ⅰ（地域で暮らす高齢者の看護）	2後	2			1	1	2			
		老年看護学実習Ⅱ（病と生きる高齢者の看護）	3後	2				1	1	1		
		母性看護学概論	2後	2			1	1	1			
		母性看護実践論	3前	2			1	1	1			
		母性看護学実習	3後	2			1	1	1			
		小児看護学概論	2後	2			1	1		1		
		小児看護実践論	3前	2			1	1		1		
		小児看護学実習	3後	2			1	1		1		
		精神保健	2前	1			1		1			
		精神看護学概論	2後	1			1		1			

	精神看護実践論	3前	2			1		1	1		
	精神看護学実習	3後	2			1		1	1		
	障害者看護論	3後	1			1		1	1		
	小計(43科目)	－	62			5	6	9	6	3	1
災害看護学	災害看護学Ⅰ	1前	1			1	1		1		
	災害看護学Ⅱ	2後	1			1	1	2			
	災害看護学Ⅲ	3前	2			1	1	2			
	災害看護学実習	4前	1			1	1	2	1		
看護研究	看護研究の基礎	3前	1			1	1	2			
	英語論文のクリティーク	3後	1			5	7	8	6		
	災害看護学に関する卒業研究	4通	3			5	7	9	5		
統合看護学	看護管理学	3前	1			1			1		
	医療安全学	3前	1			1					
	国際看護学	3前	1			1	1	2			
	看護学統合実習	4前	2			5	7	8	1	3	
	コミュニティ形成論	4後		1							1
	チーム医療論	4後		1		1		1	1		
	看護職とキャリア形成	4後		1		1					
	看護教育学	4後		1		1	1				
	看護政策論	4後		1		1	1	2			
	小計(16科目)	－	15	2	0	5	7	9	6	3	1
	合計(104科目)	－	125	5	0	6	7	9	6	3	36

卒業要件及び履修方法

「基礎分野」については16単位、「専門基礎分野」については32単位、「専門分野」については77単位、上記3分野からの選択科目5単位の合計130単位以上とする。(履修科目の登録の上限：45単位(年間))

	精神看護実践論	3前	2			1		1			
	精神看護学実習	3後	2			1		1			
	障害者看護論	3後	1			1		1			
	小計(43科目)	－	62			29	35	41	12	0	0
災害看護学	災害看護学Ⅰ	1前	1			1	1		1		
	災害看護学Ⅱ	2後	1			1	1	2			
	災害看護学Ⅲ	3前	2			1	1	2			
	災害看護学実習	4前	1			1	1	2			
看護研究	看護研究の基礎	3前	1			1	1	2			
	英語論文のクリティーク	3後	1			6	5	9	3		
	災害看護学に関する卒業研究	4通	3			6	6	10	3		
統合看護学	看護管理学	3前	1			1			1		
	医療安全学	3前	1			1		2			
	国際看護学	3前	1			1	1	2			
	看護学統合実習	4前	2			6	6	10	2		
	コミュニティ形成論	4後		1							1
	チーム医療論	4後		1		1		1			
	看護職とキャリア形成	4後		1		1					
	看護教育学	4後		1		1	1		1		
	看護政策論	4後		1		1	2	1			
	小計(16科目)	－	15	5	0	30	26	43	10	0	1
	合計(104科目)	－	125	5	0	7	6	10	4	4	36

卒業要件及び履修方法

「基礎分野」については16単位、「専門基礎分野」については32単位、「専門分野」については77単位、上記3分野からの選択科目5単位の合計130単位以上とする。(履修科目の登録の上限：45単位(年間))

【令和7年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
基礎分野	人間を尊重し人権を擁護する能力	文化人類学	1前		1							1
		哲学	1前		1							1
		倫理学	1前		1							1
		社会学	1前		1							1
		法学	1後		1							1
		死生学	1後	1								1
	人間関係を形成する能力	人間関係論	1前	1								1
		心理学	1前	1								1
		実用英語Ⅰ	1前	2								4
		実用英語Ⅱ	1後	2								4
		実用医療・看護英語	2前	2								4
		中国語	1前		1							1
		スペイン語	1前		1							1
	健康問題の解決	スポーツ科学	1後		2							1
		教育学	2前	2								1
		社会保障制度概論	2前		1							1
	[illegible]	災害ボランティア論	2後		1		1	1		1		
	看護探求能力	情報リテラシー	1前	1								1
		論理学	1前	1								1
		自然科学の基礎	1前	1			1	1	1	1		
		実践統計学	1後	2			1	1	1	1		
		小計（21科目）	−	16	11	0	3	3	2	3		(兼担27)
専門基礎分野	人間を尊重し人権を擁護する能力	医療と法（看護関係法規）	2前	1								1
	健康問題の解決	医学概論	1前	1								1
		解剖生理学Ⅰ	1前	2								1
		解剖生理学Ⅱ	1前	2								1
		病理学	1後	2								1
		生化学	1後	1								1
		微生物学	1前	1								1
		薬理学	1後	1								1
		疾病と治療Ⅰ（呼吸器系・消化器系）	1後	2								1
		疾病と治療Ⅱ（血液系・循環器系）	1後	2								1
		疾病と治療Ⅲ（神経系・骨筋系）	2前	2								1
		疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・生殖器系・内分泌系）	2前	2								1
		疾病と治療Ⅴ（感覚器系・統合）	2後	2								1
		疾病と治療Ⅵ（精神系）	2後	1								1
		臨床栄養学演習	2後	1								1
		臨床薬理学演習	2後	1								3
		臨床検査学演習	2後	1			1	1	1	1		
		疫学・保健統計	1後	1			1	1	2			
		公衆衛生学	2前	2			1	1	1	1		
		人間工学	2前		1							1
	連携・協働する能力	保健医療福祉システム論	2前	1								1
		政策医療論	2後	1			1					1
	看護探求能力	医療・看護情報学の基礎	2前	1			1	1	1	1		
		医療・看護論文の講読	2後	1			1	1	1	1		
		小計（24科目）	−	32	1	0	5	5	6			(兼担21)
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1前	1			1					
		看護倫理	1後	1				1				
		看護理論	2後	1			1		1			
		看護学体験実習	1前	1			1	1	2			
	基礎看護技術学	看護実践技術論Ⅰ（日常生活における援助技術と判断）	1前	2			1	1	2			
		看護実践技術論Ⅱ（治療・処置における援助技術と判断）	1後	1			1	1	2			
		看護実践技術論Ⅲ（看護技術の統合）	1後	1			1	1	2			
		ヘルスアセスメント	1前	1					1			
		コミュニケーション技法	1後	1				1				
		フィジカルアセスメント	1後	1				1				
		看護過程と看護方法論	1後	1					1			
		日常生活援助展開実習【臨】	1後	1			1	1	2			
		看護過程展開実習	2前	2			1	1	1			
	地域・在宅看護学	家族看護学	2前	1			3	2				
		地域・在宅看護学概論	1後	1				1				
		地域・在宅看護支援論	2後	2				1				
		地域・在宅看護実践論Ⅰ（在宅における看護技術と危機管理）	3後	1				1				
		地域・在宅看護実践論Ⅱ（地域におけるケアシステムと連携）	4前	1				1				
		地域・在宅看護学実習	4前	2				1				
		自立支援教育論	2後	1				1				
		疾病予防看護学	2後	1				1				
	臨床実践看護学	成人看護学概論	1後	1			1	1	1			
		急性期看護論	3前	2				1				
		慢性期看護論	2前	2			1		1			
		成人看護/老年看護実践論（A成人看護論・B老年看護論）	3前	2				2	1	1		
		成人看護学実習Ⅰ（急性期）	3後	2				1	1	1		
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	3後	2				1				
		老年看護学概論	1後	1			1	1				
		老年期看護論	2前	1				1				
		老年看護実践論	2前	1				1				1
		老年看護学実習Ⅰ（地域で暮らす高齢者の看護）	2後	2				1				
		老年看護学実習Ⅱ（病と生きる高齢者の看護）	3後	2				1	1	1		
		母性看護学概論	2後	2					1			1
		母性看護実践論	3前	2					1			
		母性看護学実習	3後	2					1			
		小児看護学概論	2後	2			1	1		1		

	小児看護実践論	3前	2			1	1		1		
	小児看護学実習	3後	2			1	1		1		
	精神保健	2前	1			1		1	1		
	精神看護学概論	2後	1			1		1			
	精神看護実践論	3前	2			1		1	1		
	精神看護学実習	3後	2			1		1	1		
	障害者看護論	3後	1			1		1			
	小計（43科目）	－	62	0	0	21	32	27	9	0	（兼担2）
災害看護学	災害看護学Ⅰ	1前	1			1	1		1		
	災害看護学Ⅱ	2後	1			1	1	1	1		
	災害看護学Ⅲ	3前	2			1	1	1	1		
	災害看護学実習	4前	1			1	1	1	1		
看護研究	看護研究の基礎	3前	1			1	1	1	1		
	英語論文のクリティーク	3後	1			5	6	6	4		
	災害看護学に関する卒業研究	4通	3			5	6	6	4		
統合看護学	看護管理学	3前	1			1			1		
	医療安全学	3前	1					1			1
	国際看護学	3前	1			1	1	1	1		
	看護学統合実習	4前	2			5	6	6	4		
	コミュニティ形成論	4後		1							1
	チーム医療論	4後		1		1		1			
	看護職とキャリア形成	4後		1		1					
	看護教育学	4後		1		1	1				
	看護政策論	4後		1			1				
	小計（16科目）	－	15	5	0	25	26	25	19	0	兼2
	合計（104科目）	－	125	17	0	5	6	6	4	0	48

卒業要件及び履修方法
「基礎分野」については16単位、「専門基礎分野」については32単位、「専門分野」については77単位、上記3分野からの選択科目5単位の合計130単位以上とする。（履修科目の登録の上限：45単位（年間））

(注)・ 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
- 不要な年度（令和６年度開設であれば令和５年度以前）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
- 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和７年度】(新)→【令和６年度】(新)→【令和５年度】→【令和４年度】→【令和７年度】(旧)→【令和６年度】(旧)

【令和7年度】

「単位： 名」

・自然科学の基礎：専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
・医学概論：専任教員等の配置を「教授1」から「教諭0」、「兼担・兼任0」から「兼担・兼任1」に変更。
・解剖生理学Ⅰ：専任教員等の配置を「教授1」から「教諭0」、「兼担1」から「兼任1」に変更。
・看護学体験実習：専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
・看護実践技術論Ⅰ（日常生活における援助技術と判断）：専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
・ヘルスアセスメント：専任教員等の配置を「教授1」から「教諭0」、「准教授1」から「准教諭0」、「講師0」から「講師1」に変更。
・実践統計学：専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
・看護実践技術論Ⅱ（治療・処置における援助技術と判断）：専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
・看護実践技術論Ⅲ（看護技術の統合）：専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
・看護過程と看護方法論：専任教員等の配置を「准教授1」から「准教諭0」、「助教1」から「助教0」、「講師0」「講師1」に変更。

・日常生活援助展開実習【臨】：専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
・地域・在宅看護学概論：専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
・地域・在宅看護支援論：専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
・地域・在宅看護実践論Ⅰ：専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師1」から「講師0」に変更。
・地域・在宅看護実践論Ⅱ：専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
・地域・在宅看護学実習：専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
・自立支援教育論：専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
・疾病予防看護学：専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師1」から「講師0」に変更、「助教1」から「助教0」に変更。
・公衆衛生学：専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更、「助教0」から「助教1」に変更。
・医療・看護情報学の基礎：専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更、「助教0」から「助教1」に変更。
・看護過程展開実習：専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
・老年期看護論：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更、「講師1」から「講師0」に変更、「助教1」から「助教0」に変更。
・老年看護実践論：専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、「助教1」から「助教0」に変更。
・家族看護学：専任教員等の配置を「講師2」から「講師0」に変更。
・災害ボランティア論：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
・臨床検査学演習：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更、「講師2」から「講師1」に変更、「助教0」から「助教1」に変更。
・政策医療論：専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更、「講師1」から「講師0」に変更。
・医療・看護論文の講読：専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更、「助教0」から「助教1」に変更。
・老年看護学実習Ⅰ（地域で暮らす高齢者の看護）：専任教員等の配置を「講師0」から「講師2」に変更。
・老年看護学実習Ⅱ（病と生きる高齢者の看護）：専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師1」から「講師0」に変更。
・急性期看護論：専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、「助教1」から「助教0」に変更。
・成人看護学実習Ⅰ(急性期)：専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
・成人看護学実習Ⅱ(慢性期)：専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更、「助教2」から「助教1」に変更。
・老年看護学実習Ⅱ：専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更、「助教1」から「助教0」に変更。
・災害看護学Ⅱ：専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更、「助教0」から「助教1」に変更。
・災害看護学Ⅲ：専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更、「助教0」から「助教1」に変更。

・母性看護学概論：専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・母性看護実践論：専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授1」から「准教授0」に変更
・母性看護学実習：専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授1」から「准教授0」に変更
・精神保健：専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
・精神看護実践論：専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
・精神看護学実習：専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
・障害者看護論：専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
・看護研究の基礎：専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更、「助教0」から「助教1」に変更。
・災害看護学実習：専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更、「助教0」から「助教1」に変更。
・英語論文のクリティーク：専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」、「准教授5」から「「准教授6」から「准教授5」、「講師9」から「講師6」、「助教3」から「助教4」に変更。
・災害看護学に関する卒業研究：専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」、「准教授5」から「「教授6」から「教授5」、「講師9」から「講師6」、「助教3」から「助教4」に変更。
・看護学統合実習：専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」、「准教授5」から「「教授6」から「教授5」、「講師9」から「講師6」、「助教3」から「助教4」に変更。
・医療安全学：専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」「講師2」から「講師1」に変更
・看護学統合実習：専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」、「准教授5」から「「教授6」から「教授5」、「講師9」から「講師6」、「助教3」から「助教4」に変更。
・看護教育学：専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
・看護政策論：専任教員等の配置を[教授1]から「教授0」、「准教授2」から「准教授1」、「講師2」から「講師1」に変更。
・疾病予防看護学：専任教員等の配置を[教授0]から「教授1」、「助教0」から「助教1」に変更。
・政策医療論：専任教員等の配置を「兼担0」から「兼担1」に変更。
・成人看護/老年看護実践論（A成人看護論・B老年看護論）：専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更、「講師3」から「講師1」に変更、「助教1」から「助教0」に変更。
・国際看護学：専任教員等の配置を「教授1」から「「講師2」から「講師1」に変更、「助教0」から「助教1」に変更。
・障害者看護論：専任教員等の配置を「教授1」から「「講師2」から「講師1」に変更、「助教0」から「助教1」に変更

【令和6年度】

「単位： 名」

・実用英語Ⅰ：専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、「兼担・兼任3」から「兼担・兼任4」に変更。
・実用英語Ⅱ：専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、「兼担・兼任3」から「兼担・兼任4」に変更。
・実用医療・看護英語：専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、「兼担・兼任3」から「兼担・兼任4」に変更。
・災害ボランティア論：専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
・解剖生理学Ⅱ：専任教員等の配置を「兼担・兼任1」から「兼担・兼任2」に変更。
・疾病と治療Ⅱ（血液系・循環器系）：専任教員等の配置を「兼担・兼任3」から「兼担・兼任2」に変更。
・臨床薬理学演習：専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。
・政策医療論：専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。
・看護理論：専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
・看護学体験実習：専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。
・看護実践技術論Ⅰ（日常生活における援助技術と判断）：専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
・看護実践技術論Ⅱ（治療・処置における援助技術と判断）：専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
・看護実践技術論Ⅲ（看護技術の統合）：専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
・ヘルスアセスメント：専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
・日常生活援助展開実習【臨】：専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」、「助手2」から「助手0」に変更。
・看護過程展開実習：専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」、「助手2」から「助手0」に変更。
・家族看護学：専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授1」から「准教授2」、「講師3」から「講師2」に変更。
・地域・在宅看護実践論Ⅱ（地域におけるケアシステムと連携）：専任教員等の配置を「兼担・兼任1」から「兼担・兼任0」に変更。
・急性期看護論：専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」、「助教0」から「助教1」に変更。
・成人看護/老年看護実践論（A成人看護論・B老年看護論）：専任教員等の配置を「講師1」から「講師3」、「助教2」から「助教1」に変更。
・成人看護学実習Ⅱ(慢性期)：専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
・老年看護学概論：専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
・老年期看護論：専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
・老年看護実践論：専任教員等の配置を「講師0」から「講師2」、「助教2」から「助教0」に変更。
・老年看護学実習Ⅰ（地域で暮らす高齢者の看護）：専任教員等の配置を「講師0」から「講師2」に変更。
・老年看護学実習Ⅱ（病と生きる高齢者の看護）：専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」、「助手1」から「助手0」に変更。

・母性看護学概論：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
・母性看護実践論：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
・母性看護学実習：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
・小児看護学概論：専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
・小児看護実践論：専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
・小児看護学実習：専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「助教0」から「助教1」に変更。
・精神保健：専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
・精神看護学概論：専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
・精神看護実践論：専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
・精神看護学実習：専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
・障害者看護論：専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
・災害看護学実習：専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
・英語論文のクリティーク：専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」、「准教授7」から「准教授5」、「講師8」から「講師9」、「助教6」から「助教3」に変更。
・災害看護学に関する卒業研究：専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」、「准教授7」から「准教授6」、「講師9」から「講師10」、「助教5」から「助教3」に変更。
・医療安全学：専任教員等の配置を「講師0」から「講師2」に変更。
・看護学統合実習：専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」、「准教授7」から「准教授6」、「講師8」から「講師10」、「助教1」から「助教2」、「助手3」から「助手0」に変更。
・チーム医療論：専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
・看護教育学：専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
・看護政策論：専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「講師2」から「講師1」に変更。

【令和５年度】

「単位： 名」

・実用英語Ⅰ：専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「兼担・兼任4」から「兼担・兼任3」に変更。
・実用英語Ⅱ：専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「兼担・兼任4」から「兼担・兼任3」に変更。
・実用医療・看護英語：専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「兼担・兼任4」から「兼担・兼任3」に変更。
・自然科学の基礎：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「講師1」から「講師2」、「助教1」から「助教0」に変更。
・実践統計学：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」、「講師0」から「講師2」、「兼担・兼任1」から「兼担・兼任0」に変更。
・医学概論：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼担・兼任1」から「兼担・兼任0」に変更。
・解剖生理学Ⅰ：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼担・兼任1」から「兼担・兼任2」に変更。
・病理学：専任教員等の配置を「兼担・兼任1」から「兼担・兼任4」に変更。
・疾病と治療Ⅱ（血液系・循環器系）：専任教員等の配置を「兼担・兼任2」から「兼担・兼任3」に変更。
・疾病と治療Ⅲ（神経系・骨筋系）：専任教員等の配置を「兼担・兼任1」から「兼担・兼任3」に変更。
・臨床薬理学演習：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」、「講師0」から「講師2」、「兼担・兼任1」から「兼担・兼任0」に変更。
・臨床検査学演習：専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」、「助教1」から「助教0」に変更。
・疫学・保健統計：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「講師0」から「講師2」、「兼担・兼任1」から「兼担・兼任0」に変更。
・公衆衛生学：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「講師2」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
・保健医療福祉システム論：専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師2」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
・政策医療論：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師0」から「講師2」に変更。
・医療・看護情報学の基礎：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「講師0」から「講師2」に変更。
・医療・看護論文の講読：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「講師1」から「講師2」、「助教2」から「助教0」に変更。

・看護理論：専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師1」から「講師0」、「助教1」から「助教0」に変更。
・看護学体験実習：専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」、「助教9」から「助教0」、「助手1」から「助手2」に変更。
・看護実践技術論Ⅰ（日常生活における援助技術と判断）：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師2」、「助教2」から「助教1」に変更。
・看護実践技術論Ⅱ（治療・処置における援助技術と判断）：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師2」、「助教2」から「助教1」に変更。
・看護実践技術論Ⅲ（看護技術の統合）：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師2」、「助教2」から「助教1」に変更。
・ヘルスアセスメント：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師2」、「助教2」から「助教1」に変更。
・コミュニケーション技法：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
・フィジカルアセスメント：専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」、「助教2」から「助教0」に変更。
・看護過程と看護方法論：専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」、「助教2」から「助教1」、「助手3」から「助教0」に変更。
・日常生活援助展開実習【臨】：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師2」、「助教10」から「助教0」、「助手3」から「助教2」に変更。
・看護過程展開実習：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師2」、「助教10」から「助教0」、「助手3」から「助教2」に変更。
・家族看護学：専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師3」、「助教2」から「助教0」に変更。
・地域・在宅看護学概論：専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」、「助教2」から「助教0」に変更。
・地域・在宅看護支援論：専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」、「助教2」から「助教0」に変更。
・地域・在宅看護実践論Ⅰ（在宅における看護技術と危機管理）：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
・地域・在宅看護実践論Ⅱ（地域におけるケアシステムと連携）：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「兼担・兼任0」から「兼担・兼任1」に変更。
・地域・在宅看護学実習：専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」、「助教2」から「助教0」に変更。
・自立支援教育論：専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」、「助教2」から「助教0」に変更。
・疾病予防看護学：専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」、「助教2」から「助教0」に変更。
・急性期看護論：専任教員等の配置を「講師0」から「講師2」、「助教2」から「助教0」に変更。
・慢性期看護論：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「講師2」から「講師1」「助教1」から「助教0」に変更。
・成人看護/老年看護実践論（A成人看護論・B老年看護論）：専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「講師2」から「講師1」、「助教3」から「助教2」に変更。
・成人看護学実習Ⅰ(急性期)：専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更
・成人看護学実習Ⅱ(慢性期)：専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」、「助教3」から「助教2」に変更。
・老年看護学概論：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
・老年看護実践論：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
・老年看護学実習Ⅰ（地域で暮らす高齢者の看護）：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
・老年看護学実習Ⅱ（病と生きる高齢者の看護）：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」、「助教1」から「助教2」、「助手0」から「助手1」に変更。

・母性看護学概論：専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
・母性看護実践論：専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
・母性看護学実習：専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
・小児看護学概論：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
・小児看護実践論：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
・小児看護学実習：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
・精神看護学概論：専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、「助手1」から「助手0」に変更。
・精神看護実践論：専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、「助手1」から「助手0」に変更。
・精神看護学実習：専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、「助手1」から「助手0」に変更。
・障害者看護論：専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、「助手1」から「助手0」に変更。
・災害看護学Ⅰ：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教0」から「助教1」に変更。
・災害看護学Ⅱ：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師2」、「助教2」から「助教0」に変更。
・災害看護学Ⅲ：専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「講師1」から「講師2」、「助教2」から「助教0」に変更。
・災害看護学Ⅲ：専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「講師1」から「講師2」、「助教2」から「助教0」に変更。
・災害看護学実習：専任教員等の配置を「教授6」から「教授1」、「准教授2」から「准教授1」、「講師8」から「講師2」、「助教10」から「助教1」に変更。
・看護研究の基礎：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「講師1」から「講師2」、「助教1」から「助教0」に変更。
・災害看護学に関する卒業研究：専任教員等の配置を「教授7」から「教授5」、「准教授2」から「准教授7」、「講師8」から「講師9」、「助教10」から「助教5」に変更。
・看護管理学：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「助教0」から「助教1」、「兼担・兼任1」から「兼担・兼任0」に変更。
・医療安全学：専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
・国際看護学：専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
・看護学統合実習：専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」、「准教授2」から「准教授7」、「助教10」から「助教1」、「助教0」から「助教3」に変更。
・コミュニティ形成論：専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」、「兼担・兼任0」から「兼担・兼任1」に変更。
・チーム医療論：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「助教0」から「助教1」に変更。
・看護職とキャリア形成：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼担・兼任1」から「兼担・兼任0」に変更。
・看護教育学：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
・看護政策論：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」、「講師0」から「講師2」に変更。

【令和４年度】

「単位： 名」

・実践統計学：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
・疫学・保健統計：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
・老年看護学概論：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師0」から「講師1」に変更。
・老年期看護論：専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
・老年看護実践論：専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教」から「助教1」に変更。
・母性看護学概論：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
・母性看護実践論：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
・精神看護学概論：専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
・精神看護実践論：専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
・障害者看護論：専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
・コミュニケーション技法：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
・地域・在宅看護学概論：専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
・家族看護学：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
・在宅看護学概論：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
・在宅看護実践論Ⅰ：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
・地域看護学概論：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
・自立支援教育論：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
・疾病予防看護学：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
・災害看護学Ⅱ：専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
・看護管理学：専任教員等の配置を「助教」から「助教1」に変更。

(注)・ ２（１）－① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度（令和６年度開設であれば令和５年度以前）の表は適宜削除してください。
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ１つの枠内に記入してください。

（2） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
85 科目	17 科目	0 科目	102 科目	88 科目 [ ]	16 科目 [ ]	0 科目 [ ]	104 科目 [ ]	（記入例：指定規則の場合） 【旧カリキュラム】 設置時の計画：必修○科目、選択○科目、自由○科目、 計（A）○科目 変更状況：必修○科目、選択○科目、自由○科目、 計○科目

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

（3） 未開講科目

履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					該当なし
2						
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。
なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、
学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{2}{102} = 1.96\ \%$$

数式が入力されています。

(注)・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	37,384 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	37,384 ㎡	大学全体
	運動場用地	10,503 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	10,503 ㎡	
	小計	47,887 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	47,887 ㎡	新学部設置に係る 借用面積:4,030.24㎡ 借用期間:32年
	その他	4,597 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	4,597 ㎡	
	合計	52,484 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	52,484 ㎡	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体
		53,093 ㎡ (53,093 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	53,093 ㎡ (53,093 ㎡)	新学部設置に係る 借用面積:6,972.42㎡ 借用期間:32年

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	7室	12室	4室	3室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)	届出学部全体

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	立川看護学部　看護学科	25 室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	立川看護学部 看護学科	20,000〔100〕 ~~(18,109〔69〕)~~ (20,005〔71〕)	64〔3〕 ~~(68〔3〕)~~ (73〔4〕)	3,580〔2,240〕 ~~4,331〔2,889〕~~ 4,481〔2,918〕	470 ~~(456)~~ (538)	3,601 (2,781)	95 (95)	大学全体での共用分を含む 電子ｼﾞｬｰﾅﾙ 全ｷｬﾝﾊﾟｽ閲覧可
	計	20,000〔100〕 ~~(18,109〔69〕)~~ (20,000〔71〕)	64〔3〕 ~~(68〔3〕)~~ (73〔4〕)	3,580〔2,240〕 ~~4,331〔2,889〕~~ 4,481〔2,918〕	470 ~~(456)~~ (538)	2,781 (2,781)	95 (95)	

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	286 ㎡	49 席	11,111 冊	届出学部全体

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	備考
	520㎡		届出学部全体

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	備考
経費の見積り	教員１人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	30,000千円	6,000千円	60,000千円	届出学部全体
	共同研究費等	7,000千円	7,000千円	設備購入費	248,500千円	295,000千円	360,000千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,850千円	1,600千円	1,600千円	1,550千円	― 千円	― 千円
学生納付金以外の維持方法の概要						

（複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- 「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の５月１日現在の数値を記入してください。
- 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（６）」を「備考」に赤字で記入してください。
  なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4　既設大学等の状況

大学の名称	東京医療保健大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度					
医療保健学部		280		1120										
看護学科	4	100		400	学士（看護学）	1.27	—	－	平成17年度	五反田キャンパス 東京都品川区東五反田4-1-17				
医療栄養学科	4	100		400	学士（栄養学）	0.64	—	－	平成17年度	世田谷キャンパス 東京都世田谷区世田谷3-11-3				
医療情報学科	4	80		320	学士（医療情報学）	0.48	—	－	平成17年度	世田谷キャンパス 東京都世田谷区世田谷3-11-3				
東が丘・立川看護学部		－		200							※令和2年度より学生募集停止（東が丘・立川看護学部）			
看護学科 臨床看護学コース	4	－		100	学士（看護学）	—	—	－	平成22年度	国立病院機構キャンパス 東京都目黒区東が丘2-5-1				
看護学科 災害看護学コース	4	－		100	学士（看護学）	—	—	－	平成28年度	国立病院機構 立川キャンパス 東京都立川市緑町3256				
東が丘看護学部		100		400	－									
看護学科	4	100		400	学士（看護学）	1.10	—	－	令和2年度	国立病院機構キャンパス 東京都目黒区東が丘2-5-1				
立川看護学部		100		400	－									
看護学科	4	100		400	学士（看護学）	1.19	—	－	令和2年度	国立病院機構立川キャンパス 東京都立川市緑町3256				
千葉看護学部		100		400										
看護学科	4	100		400	学士（看護学）	1.12	—	－	平成30年度	船橋キャンパス 千葉県船橋市海神町1-1042-2				
和歌山看護学部		100		370										
看護学科	4	100		370	学士（看護学）	1.08	—	－	平成30年度	雑賀キャンパス 和歌山県和歌山市東坂ノ上丁3	※令和7年度より入学定員増（90→100名）			
大学全体	4	680		2690		1.00	－	－	－	－				

（注）・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「収容定員充足率」には、報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和８年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず太字にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5　教員組織の状況

＜立川看護学部　看護学科＞

（1）一覧・担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等 / 担当授業科目名
専	教授	草間 朋子（76）＜平成X年4月＞博士（災害看護学他） [illegible]論 災害看護学に関する卒業研究
兼担	教授	山西 文子（75）＜平成X年4月＞ [illegible] 看護管理学
専	教授	岩高 裕子（59）＜平成X年4月＞修士（経営学） 看護学概論 ヘルスアセスメント 看護実践技術論Ⅰ 看護実践技術論Ⅱ 看護実践技術論Ⅲ 看護倫理 フィジカルアセスメント 看護過程と看護方法論 看護理論 英語論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 災害看護学実習 看護学統合実習
専	教授	衣川 さえ子（65）＜平成X年4月＞博士（教育学） 疾病と治療Ⅳ 母性看護学概論 [illegible]看護援助論 [illegible]文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 母性看護学実習 災害看護学実習 看護学統合実習
専	教授	久保 恭子（54）＜平成X年4月＞博士（保健医療学） 災害看護学Ⅰ 小児看護学概論 小児看護援助論 [illegible]文のクリティーク 看護教育学 災害看護学に関する卒業研究 小児看護学実習 災害看護学実習 看護学統合実習
専	教授	桜井 礼子（62）[illegible] 災害ボランティア論 [illegible]看護学概論 疾病予防看護学 自立支援教育論 国際看護学 災害看護学Ⅱ 災害看護学Ⅲ 在宅看護学概論 英語論文のクリティーク [illegible]看護援助論Ⅰ 在宅看護援助論Ⅱ コミュニティ形成論 災害看護学に関する卒業研究 [illegible]
専	教授	福田 広美（66）＜平成X年4月＞博士（[illegible]） 老年看護学概論 成人看護学概論 老年看護援助論 老年期看護論 [illegible]安全学 成人・老年看護援助論 災害看護学Ⅲ [illegible]文のクリティーク チーム医療論 災害看護学に関する卒業研究 [illegible]看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ [illegible]
専	教授	村松 仁（53）＜平成X年4月＞修士（看護学） 臨床コミュニケーション論 精神看護学概論 精神看護援助論 障害者看護論 英語論文のクリティーク チーム医療論 災害看護学に関する卒業研究 精神看護学実習 災害看護学実習 看護学統合実習

【令和4年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等 / 担当授業科目名
専	教授	山西 文子（76）＜令和2年4月＞修士（人間科学） [illegible] 看護管理論 [illegible] 災害看護学に関する卒業研究
専	教授	長田 恵子（63）＜令和4年6月＞修士（看護学） [illegible] [illegible] [illegible] 災害看護学に関する卒業研究
専	教授	岩高 裕子（61）＜令和2年4月＞修士（経営学） ヘルスアセスメント 看護実践技術論Ⅰ 看護実践技術論Ⅱ 看護実践技術論Ⅲ 看護倫理 コミュニケーション技法 [illegible]文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 災害看護学実習 看護学統合実習
専	教授	衣川 さえ子（67）＜令和2年4月＞博士（教育学） [illegible]と治療Ⅳ 母性看護学概論 母性看護援助論 英語論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 母性看護学実習 災害看護学実習 看護学統合実習
専	教授	久保 恭子（55）＜令和2年4月＞博士（保健医療学） 災害看護学Ⅰ 小児看護学概論 小児看護援助論 英語論文のクリティーク 看護教育学 災害看護学に関する卒業研究 小児看護学実習 災害看護学実習 看護学統合実習
専	教授	桜井 礼子（64）[illegible] [illegible]看護学概論 [illegible]看護学 自立支援教育論 [illegible] 国際看護学 災害看護学Ⅱ 地域・在宅看護学概論 英語論文のクリティーク 在宅看護援助論Ⅰ 在宅看護援助論Ⅱ 災害看護学に関する卒業研究 在宅看護学実習 災害看護学実習 [illegible]
専	准教授	[illegible]（53）＜令和3年4月＞博士（[illegible]） 老年看護実践論 老年期看護論 成人・老年看護援助論 老年看護学概論 英語論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 災害看護学実習 看護学統合実習
専	教授	村松 仁（55）＜令和2年4月＞[illegible] 臨床コミュニケーション論 精神看護学概論 精神看護援助論 障害者看護論 英語論文のクリティーク チーム医療論 災害看護学に関する卒業研究 精神看護学実習 災害看護学実習 看護学統合実習
専	教授	[illegible]（67）＜令和2年4月＞[illegible] 成人看護学概論 老年看護学概論 老年看護学実習Ⅰ [illegible] [illegible] 成人・老年看護援助論 英語論文のクリティーク [illegible]管理学 看護職とキャリア形成 災害看護学に関する卒業研究 成人看護学実習Ⅱ [illegible]看護学実習 [illegible]看護学統合実習
専	教授	[illegible] 弘子（61）＜令和3年4月＞博士（看護学） 看護学概論 ヘルスアセスメント 看護実践技術論Ⅰ 看護実践技術論Ⅱ 看護実践技術論Ⅲ 看護理論 英語論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 災害看護学実習 看護学統合実習

【令和5年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等 / 担当授業科目名
専	教授	長田 恵子（64）＜令和4年6月＞修士（看護学） 公衆衛生学 [illegible]の基礎 [illegible]看護学Ⅱ 看護研究の基礎 看護学統合実習 国際看護学 [illegible]看護学に関する卒業研究 [illegible]看護学実習 疫学・保健統計 [illegible] [illegible] [illegible] [illegible]看護学Ⅰ [illegible]論文のクリティーク [illegible]統計学
専	教授	岩高 裕子（62）＜令和2年4月＞修士（経営学） 看護実践技術論Ⅰ ヘルスアセスメント フィジカルアセスメント 災害看護学に関する卒業研究 看護倫理 看護実践技術論Ⅱ 看護実践技術論Ⅲ 看護過程と看護方法論 コミュニケーション技法 [illegible]文のクリティーク 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 [illegible]過程展開実習 看護学統合実習
専	准教授	[illegible]（59）＜令和5年4月＞修士（[illegible]） 母性看護実践論 [illegible]看護学に関する卒業研究 母性看護学概論 英語論文のクリティーク 母性看護学実習 看護学統合実習
専	教授	久保 恭子（56）＜令和2年4月＞博士（保健医療学） 災害看護学Ⅰ 家族看護学 小児看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 小児看護学概論 英語論文のクリティーク 看護教育学 小児看護学実習 看護学統合実習
兼任	講師	桜井 礼子（65）[illegible] 在宅看護学概論 在宅看護援助論Ⅱ コミュニティ形成論
専	准教授	[illegible]（54）＜令和3年4月＞博士（看護学） [illegible] [illegible] 成人・老年看護実践論 災害看護学に関する卒業研究 老年看護学概論 英語論文のクリティーク 老年看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅱ 看護学統合実習
専	教授	村松 仁（56）＜令和2年4月＞[illegible] 精神保健 [illegible]看護学 精神看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 精神看護学概論 障害者看護論 英語論文のクリティーク チーム医療論 精神看護学実習 看護学統合実習
専	教授	[illegible]（68）＜令和2年4月＞[illegible] [illegible] 成人・老年看護援助論 看護管理学 災害看護学に関する卒業研究 成人看護学概論 老年看護学概論 在宅看護援助論Ⅰ 英語論文のクリティーク 看護職とキャリア形成 [illegible]看護学実習Ⅰ [illegible]看護学実習Ⅱ 看護学統合実習
専	教授	[illegible] 弘子（62）＜令和3年4月＞博士（看護学） [illegible] 看護実践技術論Ⅰ ヘルスアセスメント [illegible]看護学に関する卒業研究 看護実践技術論Ⅱ 看護実践技術論Ⅲ 看護理論 英語論文のクリティーク 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 看護学統合実習

【令和6年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等 / 担当授業科目名
専	教授	長田 恵子（65）＜令和4年6月＞修士（看護学） [illegible]衛生学 [illegible]の基礎 [illegible]看護学Ⅱ [illegible]研究の基礎 [illegible]安全学 [illegible]看護学 災害看護学に関する卒業研究 自然科学の基礎 [illegible]学・保健統計 臨床薬理学演習 [illegible] [illegible] [illegible]看護学Ⅰ 英語論文のクリティーク 英語統計学 [illegible] 災害看護学実習 看護学統合実習
専	教授	岩高 裕子（63）＜令和2年4月＞修士（経営学） 看護実践技術論Ⅰ ヘルスアセスメント フィジカルアセスメント 災害看護学に関する卒業研究 看護倫理 看護実践技術論Ⅱ 看護実践技術論Ⅲ コミュニケーション技法 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 看護学統合実習
専	教授	[illegible]（61）＜令和6年4月＞修士（教育学） 母性看護実践論 災害看護学に関する卒業研究 母性看護学概論 英語論文のクリティーク 母性看護学実習 看護学統合実習
専	教授	久保 恭子（57）＜令和2年4月＞博士（保健医療学） 災害看護学Ⅰ 家族看護学 小児看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 小児看護学概論 [illegible]文のクリティーク 看護教育学 小児看護学実習 看護学統合実習 [illegible]
兼任	講師	桜井 礼子（66）[illegible] コミュニティ形成論
専	准教授	[illegible]（45）＜令和6年4月＞博士（[illegible]） 家族看護学 老年看護実践論 成人看護論/老年看護実践論 災害看護学に関する卒業研究 老年看護学概論 英語論文のクリティーク 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護学統合実習
専	教授	村松 仁（57）＜令和2年4月＞修士（看護学） 精神保健 家族看護学 精神看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 精神看護学概論 障害者看護論 [illegible]文のクリティーク チーム医療論 精神看護学実習 看護学統合実習
専	教授	[illegible]（69）＜令和2年4月＞[illegible] 慢性期看護論 成人看護/老年看護援助論 看護管理学 災害看護学に関する卒業研究 成人看護学概論 老年看護学概論 [illegible]看護援助論Ⅰ [illegible]論文のクリティーク [illegible]・在宅看護援助論Ⅰ [illegible]看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅲ 看護学統合実習 看護職とキャリア形成
専	教授	松谷 弘子（63）＜令和3年4月＞博士（看護学） 看護学概論 [illegible]看護実践技術論Ⅰ ヘルスアセスメント 災害看護学に関する卒業研究 看護実践技術論Ⅱ 看護実践技術論Ⅲ 看護理論 英語論文のクリティーク 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 看護学統合実習

【令和7年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等 / 担当授業科目名
専	教授	長田 恵子（66）＜令和4年6月＞修士（看護学） 公衆衛生学 [illegible]の基礎 [illegible]看護学Ⅱ 看護研究の基礎 国際看護学 [illegible]看護学に関する卒業研究 自然科学の基礎 疫学・保健統計 [illegible] [illegible] [illegible]看護学Ⅰ 英語論文のクリティーク 英語統計学 英語論文のクリティーク [illegible]統計学 [illegible]看護学実習 [illegible]
専	教授	岩高 裕子（64）＜令和2年4月＞修士（経営学） 看護実践技術論Ⅰ [illegible]文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 コミュニケーション技法 看護倫理 看護実践技術論Ⅱ 看護実践技術論Ⅲ 看護学統合実習 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習
専	教授	久保 恭子（58）＜令和2年4月＞博士（保健医療学） [illegible]看護学Ⅰ 家族看護学 小児看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 小児看護学概論 [illegible]文のクリティーク 看護教育学 小児看護学実習 看護学統合実習 [illegible]
兼任	講師	桜井 礼子（67）[illegible] コミュニティ形成論
専	准教授	[illegible]（46）＜令和6年4月＞博士（[illegible]） 家族看護学 老年看護援助論 成人看護/老年看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 老年看護学概論 英語論文のクリティーク [illegible]看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護学統合実習 老年期看護論
専	教授	村松 仁（58）＜令和2年4月＞修士（看護学） 精神保健 家族看護学 精神看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 [illegible]看護学概論 障害者看護論 [illegible]文のクリティーク チーム医療論 精神看護学実習 看護学統合実習 [illegible]
専	教授	[illegible]（70）＜令和2年4月＞[illegible] 慢性期看護論 家族看護学 看護管理学 災害看護学に関する卒業研究 成人看護学概論 [illegible]看護学概論 看護学統合実習 英語論文のクリティーク 看護職とキャリア形成
専	教授	松谷 弘子（64）＜令和3年4月＞博士（看護学） 看護学概論 看護実践技術論Ⅰ 英語論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 看護実践技術論Ⅱ 看護実践技術論Ⅲ 看護理論 看護学統合実習 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） <就任（予定）年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	高木 晴良 (59) <平成[redacted]年4月> 学士（保健学）	自然科学の基礎 [redacted]・看護情報学の基礎 公衆衛生学 保健医療福祉システム論 災害ボランティア論 [redacted]・看護論文の購読 [redacted]床検査学実習 看護研究の基礎 [redacted]期看護学 災害看護学Ⅲ 英語論文のクリティーク コミュニティ看護論 災害看護学に関する卒業研究 災害看護学実習 看護学統合実習
専	准教授	[redacted] (44) <平成[redacted]年4月> [redacted]	成人看護学概論 成人・老年看護援助論 [redacted]性期看護論 [redacted]文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ 災害看護学実習 [redacted]
専	講師	岩村 起江 (49) <平成[redacted]年4月> [redacted]（看護学）	老年看護学概論 老年看護援助論 [redacted]性期看護論 老年期看護論 成人・老年看護援助論 [redacted]文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 老年看護学実習Ⅰ [redacted]人看護学実習Ⅰ [redacted]人看護学実習Ⅱ [redacted]人看護学実習Ⅲ 災害看護学実習 看護学統合実習
専	講師	田野 [illegible] (36) <平成[redacted]年4月> 修士（リハビリテーション学）	[redacted]コミュニケーション論 [redacted]神看護学概論 [redacted]神看護援助論 [redacted]害者看護論 英語論文のクリティーク チーム医療論 災害看護学に関する卒業研究 精神看護学実習 [redacted]
専	講師	黒[illegible] 範子 (48) <平成[redacted]年4月> 修士（助産学）	母性看護学概論 母性看護援助論 英語論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 母性看護学実習 災害看護学実習 [redacted]
専	講師	櫻井 敬子 (56) <平成[redacted]年4月> [redacted]（看護学）	成人看護学概論 [redacted]性期看護論 成人・老年看護援助論 英語論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ [redacted]人看護学実習Ⅲ [redacted]害看護学実習 [redacted]
専	講師	宍戸 路佳 (39) <平成[redacted]年4月> [redacted]	小児看護学概論 小児看護援助論 [redacted]語論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 小児看護学実習 災害看護学実習 [redacted]看護学統合実習
専	講師	テイラー栄子 (54) <平成[redacted]年4月> [redacted]	災害看護学Ⅱ [redacted]族看護学 [redacted]看護学 自立支援教育論 [redacted]護学概論 [redacted]看護学概論 [redacted]看護援助論Ⅰ 在宅看護援助論Ⅱ [redacted]論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 在宅看護学実習 災害看護学実習
専	講師	福島 秀子 (52) <[redacted]>	ヘルスアセスメント 看護援助技術論Ⅰ 看護援助技術論Ⅱ [redacted]
専	講師	堀田 昇吾 (34) <平成[redacted]年4月> [redacted]士（[redacted]）	[redacted]然科学の基礎 [redacted]床検査学実習 災害ボランティア論 [redacted]際看護学 [redacted]全学 [redacted]護研究の基礎 災害看護学Ⅲ 英語論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 災害看護学実習 看護学統合実習
専	助教	今井 [illegible]子 (39) <[redacted]>	自然科学の基礎 [redacted]床検査学実習 災害ボランティア論 [redacted]
専	助教	苅田 明子 (53) <平成[redacted]年4月> 修士（看護学）	[redacted]看護援助論 慢性期看護論 急性期看護論 成人・老年看護援助論 英語論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ 災害看護学実習 [redacted]看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） <就任（予定）年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	高木 晴良 (61) <令和2年4月> 学士（保健学）	自然科学の基礎 [redacted]・看護情報学の基礎 公衆衛生学 保健医療福祉システム論 [redacted]床検査学実習 [redacted] 災害看護学Ⅲ 災害ボランティア論 [redacted]・看護論文の購読 [redacted]床検査学実習 [redacted]護研究の基礎 国際看護学 英語論文のクリティーク 災害統計学 疫学・保健統計 災害看護学に関する卒業研究 災害看護学実習 [redacted]護学統合実習
専	准教授	[redacted] (46) <令和2年4月> [redacted]	[redacted]人看護学概論 [redacted]・老年看護援助論 [redacted]性期看護論 [redacted]論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 災害看護学実習 看護学統合実習
専	講師	岩村 起江 (51) <令和2年4月> 博士（看護学）	[redacted]看護学概論 [redacted]看護援助論 [redacted]論 医療安全学 成人・老年看護援助論 英語論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ [redacted]害看護学実習 [redacted]護学統合実習
専	講師	[illegible] (42) <令和4年5月> 修士（看護学）	臨床コミュニケーション論 精神看護学概論 精神看護援助論 障害者看護論 英語論文のクリティーク チーム医療論 災害看護学に関する卒業研究 [redacted]神看護学実習 [redacted]
専	准教授	黒[illegible] 範子 (50) <令和2年4月> [redacted]（助産学）	母性看護学概論 母性看護援助論 [redacted]文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 [redacted]看護学実習 災害看護学実習 [redacted]
専	講師	櫻井 敬子 (58) <令和2年4月> [redacted]	成人看護学概論 [redacted]性期看護論 成人・老年看護援助論 医療安全学 [redacted]文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 [redacted]人看護学実習Ⅰ [redacted]人看護学実習Ⅱ 災害看護学実習 [redacted]
専	講師	宍戸 路佳 (41) <令和2年4月> [redacted]	小児看護学概論 小児看護援助論 看護教育学 [redacted]文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 小児看護学実習 災害看護学実習 看護学統合実習
専	准教授	テイラー栄子 (56) <令和2年4月> [redacted]士（[redacted]）	災害看護学Ⅱ 家族看護学 [redacted]防看護学 自立支援教育論 [redacted]護学概論 地域・在宅看護学概論 [redacted]看護学概論 [redacted]看護援助論Ⅰ 在宅看護援助論Ⅱ [redacted]論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 在宅看護学実習
専	講師	堀田 昇吾 (36) <令和2年4月> [redacted]士（[redacted]）	[redacted]然科学の基礎 [redacted]床検査学実習 臨床検査学実習 公衆衛生学 災害ボランティア論 国際看護学 [redacted]護研究の基礎 災害看護学Ⅲ 医療・看護論文の購読 英語論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 災害看護学実習 看護学統合実習
専	助教	今井 [illegible]子 (41) <[redacted]>	自然科学の基礎 看護実践技術演習Ⅰ ヘルスアセスメント [redacted]
専	助教	小川 寛恵 (35) <令和2年4月> 修士（看護学）	[redacted]コミュニケーション論 [redacted]神看護学概論 精神看護援助論 障害者看護論 [redacted]文のクリティーク チーム医療論 災害看護学に関する卒業研究 [redacted]神看護学実習 災害看護学実習 看護学統合実習
専	助教	苅田 明子 (55) <令和2年4月> 修士（看護学）	急性期看護論 医療安全学 成人・老年看護援助論 [redacted]文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ 災害看護学実習 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） <就任（予定）年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	高木 晴良 (62) <令和2年4月> 学士（保健学）	公衆衛生学 [redacted]・看護情報学の基礎 [redacted]害看護学Ⅲ [redacted]護研究の基礎 [redacted]際看護学 災害看護学に関する卒業研究 自然科学の基礎 [redacted]学・保健統計 [redacted]床検査学実習 [redacted]床検査学実習 [redacted] [redacted]療・看護論文の購読 [redacted]害看護学Ⅱ 英語論文のクリティーク [redacted]学 [redacted] 災害看護学実習 看護学統合[redacted]
専	准教授	[redacted] (47) <令和2年4月> [redacted]	家族看護学 [redacted]性期看護論 [redacted]人・老年看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 成人看護学概論 [redacted]文のクリティーク [redacted]人看護学実習Ⅰ [redacted]人看護学実習Ⅱ 看護学統合実習
専	講師	岩村 起江 (52) <令和2年4月> 博士（看護学）	在宅看護学概論 在宅看護援助論Ⅱ 災害看護学に関する卒業研究 [redacted]域・在宅看護学概論 [redacted]域・在宅看護支援論 自立支援教育論 疾病予防看護学 [redacted]看護援助論Ⅰ 英語論文のクリティーク 在宅看護学実習 看護学統合実習
専	助教	[illegible] かなえ (47) <令和5年5月> [illegible]（専門職）	[redacted] [redacted]実践論 [redacted]害看護学に関する卒業研究 [redacted]学概論 [redacted]害者看護論 [redacted]論文のクリティーク [redacted]ーム医療論 [redacted]学実習
専	講師	小平 明日香 (51) <令和5年4月> [redacted]（看護学）	[redacted]看護実践論 [redacted]看護学に関する卒業研究 母性看護学概論 [redacted]語論文のクリティーク 母性看護学実習
専	講師	櫻井 敬子 (59) <令和2年4月> [redacted]	[redacted]性期看護論 [redacted]人・老年看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 [redacted]人看護学概論 英語論文のクリティーク 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅱ 看護学統合実習
専	准教授	宍戸 路佳 (42) <令和2年4月> [redacted]	災害看護学Ⅰ 小児看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 災害ボランティア論 小児看護学概論 英語論文のクリティーク 看護教育学 小児看護学実習 看護学統合実習
専	准教授	テイラー栄子 (57) <令和2年4月> [redacted]士（[redacted]）	[redacted]看護学概論 在宅看護援助論Ⅱ 災害看護学に関する卒業研究 地域・在宅看護学概論 地域・在宅看護支援論 自立支援教育論 [redacted]防看護学 [redacted]看護援助論Ⅰ [redacted]論文のクリティーク [redacted]看護学実習 看護学統合実習
専	講師	堀田 昇吾 (37) <令和2年4月> [redacted]士（[redacted]）	公衆衛生学 [redacted]・看護情報学の基礎 [redacted]護学 災害看護学Ⅲ 看護研究の基礎 [redacted]際看護学 災害看護学に関する卒業研究 自然科学の基礎 [redacted]学・保健統計 [redacted]床検査学実習 [redacted]床検査学実習 [redacted] [redacted]・看護論文の購読 災害看護学Ⅱ [redacted]論文のクリティーク [redacted]学 [redacted]療論 災害看護学実習
専	講師	小川 寛恵 (36) <令和2年4月> [redacted]士（[redacted]）	[redacted]神保健 [redacted]神看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 [redacted]神看護学概論 [redacted]害者看護論 英語論文のクリティーク チーム医療論 [redacted]神看護学実習 看護学統合実習
専	助教	苅田 明子 (56) <令和2年4月> 修士（看護学）	[redacted]性期看護論 [redacted]人看護/老年看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 英語論文のクリティーク 成人看護学実習Ⅰ [redacted]人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） <就任（予定）年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	高木 晴良 (63) <令和2年4月> 学士（保健学）	公衆衛生学 [redacted]・看護情報学の基礎 [redacted]害看護学Ⅲ 看護研究の基礎 国際看護学 災害看護学に関する卒業研究 自然科学の基礎 [redacted]学・保健統計 [redacted]床検査学実習 [redacted]床検査学実習 [redacted]療医療論 [redacted]・看護論文の購読 災害看護学Ⅱ [redacted]文のクリティーク [redacted] 看護研究論 災害看護学実習 看護学[redacted]実習
専	准教授	[redacted] (48) <令和2年4月> [redacted]	[redacted]護学 [redacted]性期看護論 [redacted]人・老年看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 [redacted]人看護学概論 [redacted]文のクリティーク [redacted]人看護学実習Ⅰ [redacted]人看護学実習Ⅱ 看護学統合実習
専	講師	岩村 起江 (53) <令和2年4月> [redacted]	在宅看護学概論 [redacted]看護援助論Ⅱ 災害看護学に関する卒業研究 地域・在宅看護学概論 [redacted]・在宅看護支援論 自立支援教育論 [redacted]病予防看護学 [redacted]・在宅看護援助論Ⅰ [redacted]論文のクリティーク [redacted]看護学実習 看護学統合実習 [redacted]学
専	講師	小平 明日香 (52) <令和5年4月> [redacted]	母性看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 [redacted]看護学概論 英語論文のクリティーク [redacted]看護学実習 看護学統合実習
専	講師	櫻井 敬子 (60) <令和2年4月> [redacted]（看護学）	慢性期看護論 成人看護/老年看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 成人看護学概論 [redacted]文のクリティーク [redacted]人看護学実習Ⅰ [redacted]看護学実習Ⅱ 看護学統合実習
専	准教授	宍戸 路佳 (43) <令和2年4月> [redacted]	災害看護学Ⅰ 小児看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 災害ボランティア論 小児看護学概論 [redacted]文のクリティーク 看護教育学 小児看護学実習 [redacted]
専	准教授	林 千亜紀 (54) <令和6年4月> [redacted]	在宅看護学概論 在宅看護援助論Ⅱ 災害看護学に関する卒業研究 地域・在宅看護学概論 地域・在宅看護支援論 自立支援教育論 疾病予防看護学 地域・在宅看護援助論Ⅰ 英語論文のクリティーク [redacted]看護研究 在宅看護学実習 看護学統合実習
専	講師	堀田 昇吾 (38) <令和2年4月> 博士（[redacted]）	公衆衛生学 [redacted]・看護情報学の基礎 家族看護学 災害看護学Ⅲ 看護研究の基礎 国際看護学 災害看護学に関する卒業研究 自然科学の基礎 [redacted]学・保健統計 [redacted]床検査学実習 [redacted]安全学 [redacted]・看護論文の購読 災害看護学Ⅱ [redacted]文のクリティーク [redacted] 災害看護学実習 看護学統合実習
専	講師	小川 寛恵 (37) <令和2年4月> [redacted]士（[redacted]）	[redacted]神保健 [redacted]看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 精神看護学概論 障害者看護論 英語論文のクリティーク チーム医療論 [redacted]神看護学実習 看護学統合実習
専	助教	苅田 明子 (57) <令和2年4月> 修士（看護学）	[redacted]性期看護論 成人・老年看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 英語論文のクリティーク 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） <就任（予定）年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	高木 晴良 (64) <令和2年4月> 学士（保健学）	公衆衛生学 [redacted]・看護情報学の基礎 災害看護学Ⅲ 看護研究の基礎 [redacted]際看護学 災害看護学に関する卒業研究 自然科学の基礎 [redacted]床検査学実習 [redacted] [redacted]・看護論文の購読 災害看護学Ⅱ [redacted]文のクリティーク [redacted]学 看護研究論 災害看護学実習
専	准教授	[redacted] (49) <令和2年4月> [redacted]	家族看護学 [redacted]性期看護論 [redacted]人・老年看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 成人看護学概論 [redacted]論文のクリティーク [redacted]人看護学実習Ⅰ [redacted]看護学実習Ⅱ 看護学統合実習
専	講師	櫻井 敬子 (61) <令和2年4月> [redacted]（看護学）	慢性期看護論 成人看護/老年看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 [redacted]人看護学概論 [redacted]論文のクリティーク 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ [redacted]看護学統合実習
専	准教授	宍戸 路佳 (44) <令和2年4月> [redacted]	災害看護学Ⅰ 小児看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 災害ボランティア論 小児看護学概論 [redacted]文のクリティーク 看護教育学 小児看護学実習 [redacted]
専	准教授	林 千亜紀 (55) <令和6年4月> [redacted]	地域・在宅看護学概論 地域・在宅看護援助論Ⅱ 災害看護学に関する卒業研究 地域・在宅看護学概論 地域・在宅看護支援論 自立支援教育論 疾病予防看護学 地域・在宅看護援助論Ⅰ 英語論文のクリティーク 看護研究論 地域・在宅看護学実習 看護学統合実習
専	講師	堀田 昇吾 (39) <令和2年4月> 博士（[redacted]）	公衆衛生学 [redacted]・看護情報学の基礎 [redacted]護学 災害看護学Ⅲ 看護研究の基礎 [redacted]際看護学 災害看護学に関する卒業研究 自然科学の基礎 [redacted]学・保健統計 [redacted]床検査学実習 [redacted]学 [redacted]・看護論文の購読 災害看護学Ⅱ 英語論文のクリティーク [redacted] 災害看護学実習 看護学統合実習
専	講師	小川 寛恵 (38) <令和2年4月> [redacted]士（[redacted]）	精神保健 [redacted]看護援助論 災害看護学に関する卒業研究 精神看護学概論 [redacted]害者看護論 英語論文のクリティーク チーム医療論 精神看護学実習 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 ＜年齢＞ ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
専	助教	[redacted] （52） ＜平成[illegible]年4月＞ [redacted] 老年期看護論 老年看護学概論 成人・老年看護実践論 [redacted]文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ [redacted]人看護学実習Ⅱ 災害看護学実習 看護学統合実習
専	助教	[illegible] （49） ＜平成[illegible]年4月＞ [redacted] [redacted]ルスアセスメント [redacted]護実践技術論Ⅰ 看護実践技術論Ⅱ 看護実践技術論Ⅲ フィジカルアセスメント 看護過程と看護方法論 看護理論 英語論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 [redacted]護学体験実習 日常生活援助展開実習 [redacted]
専	助教	小山 [illegible] （52） ＜平成[illegible]年4月＞ [redacted] [illegible]看護学 自立支援技術論 災害看護学Ⅱ 家族看護学 [redacted]看護学概論 [redacted]看護学概論 [redacted]看護実践論Ⅰ 英語論文のクリティーク 在宅看護実践論Ⅱ [redacted]
専	助教	[illegible] （48） ＜平成[illegible]年4月＞ [redacted] [redacted]看護学 自立支援技術論 災害看護学Ⅱ [redacted]護学 地域看護学概論 在宅看護学概論 在宅看護実践論Ⅰ 英語論文のクリティーク 在宅看護実践論Ⅱ 災害看護学に関する卒業研究 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 [redacted]過程展開実習 在[redacted]看護学実習 [redacted]
専	助教	武田 [illegible] （48） ＜平成[illegible]年4月＞ [redacted] 小児看護実践論 [redacted]文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 小児看護学実習 災害看護学実習 看護学統合実習
専	助教	松山 妙子 （39） ＜平成[illegible]年4月＞ 修士（看護学） [redacted]ルスアセスメント 看護実践技術論Ⅰ [redacted]護実践技術論Ⅱ [redacted]護実践技術論Ⅲ フィジカルアセスメント 看護過程と看護方法論 看護理論 英語論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 [redacted]
専	助教	三浦 由紀子 （45） ＜平成[illegible]年4月＞ [redacted] [redacted]看護学 急性期看護論 成人・老年看護実践論 災害看護学Ⅲ 英語論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 [redacted]過程展開実習 [redacted]人看護学実習Ⅰ [redacted]人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ 災害看護学実習 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 ＜年齢＞ ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
専	講師	[redacted] （54） ＜令和[illegible]年4月＞ [redacted] 老年看護論 老年看護学概論 老年看護実践論 成人・老年看護実践論 英語論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 [redacted]過程展開実習 老年看護学実習Ⅰ [redacted]看護学実習Ⅱ [redacted]人看護学実習Ⅱ 災害看護学実習 看護学統合実習
専	講師	菅野 由貴子 （53） ＜令和3年4月＞ 修士（保健学） ヘルスアセスメント 看護実践技術論Ⅰ 看護実践技術論Ⅱ 看護実践技術論Ⅲ 看護過程と看護方法論 英語論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 災害看護学実習 [redacted]
専	助教	荒井 朋子 （49） ＜令和4年4月＞ [redacted] 成人・老年看護実践論 看護管理学 英語論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 災害看護学実習
専	助教	大塚 久美 （39） ＜令和4年4月＞ [redacted] ヘルスアセスメント 看護実践技術論Ⅰ 看護実践技術論Ⅱ 老年看護実践論 災害看護学実習Ⅱ 英語論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 [redacted]
専	助教	松山 妙子 （41） ＜令和2年4月＞ 博士（看護学） ヘルスアセスメント 看護実践技術論Ⅱ 看護実践技術論Ⅲ フィジカルアセスメント 看護過程と看護方法論 看護理論 [redacted]文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 [redacted]護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 [redacted]
専	助教	三浦 由紀子 （47） ＜令和2年4月＞ [redacted] [redacted]看護 災害ボランティア論 臨床薬理学演習 公衆衛生学 看護研究の基礎 [illegible] 国際看護学 災害看護学Ⅲ 英語・看護論文の講読 英語論文のクリティーク 災害看護学に関する卒業研究 災害看護学実習 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 ＜年齢＞ ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
専	講師	[redacted] （56） ＜令和2年4月＞ [redacted] [redacted]看護論 [redacted]看護学概論 [redacted]看護・老年看護実践論 災害看護学に関する卒業研究 老年看護学概論 [redacted]文のクリティーク 老年看護学実習Ⅰ [redacted]人看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅱ [redacted]看護学統合実習
専	講師	菅野 由貴子 （54） ＜令和3年4月＞ 修士（保健学） 看護実践技術論Ⅰ [redacted]ルスアセスメント [redacted]災害看護学に関する卒業研究 看護実践技術論Ⅱ 看護実践技術論Ⅲ 英語論文のクリティーク [redacted]看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 看護学統合実習
専	助教	荒井 朋子 （50） ＜令和4年4月＞ [redacted] 成人・老年看護実践論 看護管理学 災害看護学に関する卒業研究 英語論文のクリティーク 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ 老年看護学実習Ⅱ
専	助教	大塚 久美 （40） ＜令和4年4月＞ [redacted] 看護実践技術論Ⅰ ヘルスアセスメント 老年看護実践論 災害看護学に関する卒業研究 看護実践技術論Ⅱ 看護実践技術論Ⅲ 看護過程と看護方法論 英語論文のクリティーク 災害看護学実習
	助教	[illegible] （52） ＜令和5年4月＞ [redacted] 災害看護学Ⅰ 小児看護実践論 災害看護学に関する卒業研究 英語論文のクリティーク 小児看護学実習
専	講師	松山 妙子 （42） ＜令和2年4月＞ 博士（看護学） 看護実践技術論Ⅰ ヘルスアセスメント 災害看護学に関する卒業研究 看護実践技術論Ⅱ 看護実践技術論Ⅲ 看護過程と看護方法論 英語論文のクリティーク 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 看護学統合実習
専	講師	三浦 由紀子 （48） ＜令和2年4月＞ [redacted] 公衆衛生学 [redacted]・看護情報学の基礎 家族看護学 急性期看護論 災害看護学Ⅲ 看護研究の基礎 [redacted]看護学 災害看護学に関する卒業研究 自然科学の基礎 [redacted]学・保健統計 [redacted]神看護学実習 [redacted]学実習 [redacted] [redacted]・看護論文の講読 災害看護学Ⅱ 英語論文のクリティーク [redacted]学 看護研究論 災害看護学実習 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 ＜年齢＞ ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
専	講師	[redacted] （56） ＜令和2年4月＞ [redacted] [redacted]看護論 [redacted]看護学概論 [redacted]人看護・老年看護実践論 災害看護学に関する卒業研究 [redacted]論文のクリティーク [redacted]看護学実習Ⅰ [redacted]人看護学実習Ⅱ [redacted]看護学実習Ⅱ 看護学統合実習
専	講師	菅野 由貴子 （55） ＜令和3年4月＞ 修士（保健学） 看護実践技術論Ⅰ ヘルスアセスメント 災害看護学に関する卒業研究 看護実践技術論Ⅱ 看護実践技術論Ⅲ 英語論文のクリティーク 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 看護学統合実習 看護理論
専	講師	[illegible] （50） ＜令和6年4月＞ [redacted] 老年看護実践論 成人看護/老年看護実践論 災害看護学に関する卒業研究 英語論文のｸﾘﾃｨｰｸ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護学統合実習
専	助教	荒井 朋子 （51） ＜令和4年4月＞ [redacted] 成人看護/老年看護実践論 看護管理学 災害看護学に関する卒業研究 英語論文のクリティーク 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ
専	助教	[illegible] （53） ＜令和5年4月＞ [redacted] 災害看護学Ⅰ 小児看護実践論 災害看護学に関する卒業研究 英語論文のクリティーク 災害ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ論 小児看護学概論 看護教育学 小児看護学実習 看護学統合実習
専	講師	松山 妙子 （43） ＜令和2年4月＞ 博士（看護学） 母性看護実践論 災害看護学に関する卒業研究 母性看護学概論 [redacted]看護学実習 [redacted]看護学統合実習 [redacted]文のクリティーク
専	講師	川島 [redacted] （40） ＜令和6年4月＞ 修士（[redacted]） 公衆衛生学 [redacted]・看護情報学の基礎 [redacted]族看護学 [redacted]性期看護論 災害看護学Ⅲ 看護研究の基礎 国際看護学 災害看護学に関する卒業研究 自然科学の基礎 [redacted]学・保健統計 [redacted]神看護学実習 [redacted]看護学実習 [redacted] [redacted]・看護論文の講読 災害看護学Ⅱ [redacted]文のクリティーク [redacted] 看護研究論 災害看護学実習 看護学統合実習 [redacted]

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 ＜年齢＞ ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
専	講師	菅野 由貴子 （56） ＜令和3年4月＞ 修士（[redacted]） 看護実践技術論Ⅰ [redacted]ルスアセスメント 災害看護学に関する卒業研究 看護実践技術論Ⅱ 看護実践技術論Ⅲ 英語論文のクリティーク 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 看護学統合実習 看護理論
専	助教	荒井 朋子 （52） ＜令和4年4月＞ [redacted] 成人看護/老年看護実践論 看護管理学 災害看護学に関する卒業研究 英語論文のクリティーク 成人看護学実習Ⅰ [redacted]看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ 看護管理とｷｬﾘｱ形成
専	助教	[illegible] （54） ＜令和6年4月＞ [redacted] 災害看護学Ⅰ 小児看護実践論 災害看護学に関する卒業研究 英語論文のクリティーク 災害ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ論 小児看護学概論 看護学統合実習 小児看護学実習
専	講師	松山 妙子 （44） ＜令和2年4月＞ 博士（看護学） [redacted]看護実践論 災害看護学に関する卒業研究 [redacted]看護学概論 [redacted]看護学実習 [redacted]護学統合実習 [redacted]文のクリティーク
専	講師	川島 [redacted] （41） ＜令和6年4月＞ 修士（[redacted]） 看護実践技術論Ⅰ [redacted]ｱｾｽﾒﾝﾄ 災害看護学に関する卒業研究 看護実践技術論Ⅱ 看護実践技術論Ⅲ 英語論文のクリティーク 看護過程と看護方法論 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 災害看護学実習 看護学統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
専	助教	西田 亜希子 (43) ＜[illegible]＞	[illegible]看護学概論 [illegible]看護学概論 [illegible]文のクリティーク [illegible]看護学に関する卒業研究 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 [illegible]
兼担	教授	[illegible] (59) ＜[illegible]＞	[illegible]学実習
兼担	教授	豊田 [illegible] (70) ＜平成30年4月＞ [illegible]	教育学
兼担	教授	金子 あけみ (62) ＜平成30年4月＞ [illegible]	[illegible]と倫理 看護職とキャリア形成
兼担	准教授	[illegible] (45) ＜平成30年4月＞	[illegible]・看護論
兼担	准教授	山本 偉裕 (50) ＜平成30年4月＞ [illegible]	人間関係論 [illegible] 倫理学
兼担	講師	高野 [illegible] (46) ＜平成30年4月＞ [illegible]	[illegible]生理学Ⅰ [illegible]生理学Ⅱ
兼任	講師	大谷 智子 (43) ＜[illegible]＞	心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
専	助教	村田 加奈子 (39) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）	[illegible]看護学Ⅱ [illegible]看護学 自立支援教育論 家族看護学 [illegible]看護学概論 [illegible]看護学概論 [illegible]看護実践論Ⅰ [illegible]文のクリティーク 在宅看護実践論Ⅱ [illegible]看護学に関する卒業研究 在宅看護学実習 [illegible]看護学実習 看護学統合実習
専	助教	西田 亜希子 (45) ＜[illegible]＞	[illegible]看護学概論 [illegible]看護実践論 [illegible]文のクリティーク [illegible]看護学に関する卒業研究 母性看護学実[illegible] [illegible]看護学実習 看護学統合実習
兼任	講師	土井 庄三郎 (64) ＜令和2年4月＞ 博士（[illegible]）	[illegible]学概論 [illegible]生理学Ⅰ
兼担	教授	豊田 [illegible] (72) ＜令和3年4月＞ [illegible]	[illegible]育学
兼担	講師	[illegible] (38) ＜令和3年4月＞ [illegible]	[illegible]病と治療Ⅳ
兼担	講師	田中 [illegible] (26) ＜令和4年4月＞ 修士（[illegible]）	実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用医療・看護英語
兼担	准教授	山本 偉裕 (52) ＜令和2年4月＞ [illegible]	[illegible] [illegible]理学
兼任	講師	[illegible]田 真[illegible] (41) ＜令和2年4月＞ 博士（[illegible]）	人間関係論
兼担	講師	[illegible] (56) ＜令和4年4月＞ [illegible]	[illegible]生理学Ⅱ
兼任	講師	吉田 恵理 (34) ＜令和2年4月＞ 修士（人間科学）	心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
専	助教	村田 加奈子 (40) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）	[illegible]看護学Ⅱ [illegible]看護学 自立支援教育論 [illegible]看護学 [illegible]看護学概論 [illegible]看護学概論 在宅看護実践論Ⅰ [illegible]文のクリティーク [illegible]看護実践論Ⅱ [illegible]看護学に関する卒業研究 [illegible]看護学実習 [illegible]看護学実習 [illegible]看護学統合実習
専	助教	吉田 亜希子 (46) ＜[illegible]＞	母性看護実践論 [illegible]看護学に関する卒業研究 母性看護学概論 [illegible]文のクリティーク [illegible]看護学実習 [illegible]看護学統合実習
兼任	教授	土井 庄三郎 (65) ＜令和2年4月＞ 博士（[illegible]学）	[illegible]学概論 [illegible]生理学Ⅰ
兼担	教授	豊田 [illegible] (73) ＜令和3年4月＞ [illegible]	[illegible]育学
兼担	講師	[illegible] (39) ＜令和3年4月＞ [illegible]	[illegible]病と治療Ⅳ [illegible]生理学Ⅱ [illegible]学
兼担	講師	田中 [illegible] (27) ＜令和4年4月＞ 修士（[illegible]）	[illegible]用英語Ⅰ [illegible]用英語Ⅱ [illegible]用医療・看護英語
兼担	准教授	山本 偉裕 (53) ＜令和2年4月＞ [illegible]	[illegible] [illegible]理学
兼任	講師	[illegible]田 真[illegible] (42) ＜令和2年4月＞ 博士（[illegible]）	人間関係論
兼担	講師	[illegible] (57) ＜令和5年4月＞ [illegible]	[illegible]病と治療Ⅲ [illegible]生理学Ⅱ [illegible]
兼任	講師	吉田 恵理 (35) ＜令和2年4月＞ [illegible]	心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
専	助教	村田 加奈子 (41) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）	[illegible]看護学Ⅱ [illegible]看護学 自立支援教育論 家族看護学 [illegible]看護学概論 在宅看護学概論 [illegible]看護実践論Ⅰ [illegible]文のクリティーク 在宅看護実践論Ⅱ [illegible]看護学に関する卒業研究 在宅看護学実習 [illegible]看護学実習 看護学統合実習
専	助教		
兼任	教授	土井 庄三郎 (66) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	[illegible]学概論 [illegible]生理学Ⅰ 小児看護学実習
兼担	教授	豊田 [illegible] (74) ＜令和3年4月＞ [illegible]	教育学
兼担	講師	[illegible] (40) ＜令和3年4月＞ [illegible]	疾病と治療Ⅳ [illegible]生理学Ⅱ [illegible]学
兼担	講師	[illegible] (29) ＜令和6年4月＞ [illegible]	実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用医療・看護英語
兼担	准教授	山本 偉裕 (54) ＜令和2年4月＞ [illegible]	[illegible] 倫理学
兼任	講師	春日 [illegible] (48) ＜令和6年4月＞ 博士（教育[illegible]）	人間関係論
兼担	講師	[illegible] (58) ＜令和5年4月＞ [illegible]	疾病と治療Ⅲ [illegible]生理学Ⅱ [illegible]
兼任	講師	伊藤 冬子 (44) ＜令和6年4月＞ [illegible]	心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞保有学位等	担当授業科目名
専	助教		
兼任	講師	土井 庄三郎 (67) ＜令和2年4月＞ [illegible]	[illegible]学概論 [illegible]生理学Ⅰ
兼担	教授	豊田 [illegible] (75) ＜令和3年4月＞ [illegible]	[illegible]育学
兼担	講師	[illegible] (41) ＜令和3年4月＞ [illegible]	[illegible]と治療Ⅳ
		[illegible] (30) ＜令和6年4月＞ [illegible]	[illegible]用英語Ⅰ [illegible]用英語Ⅱ [illegible]用医療・看護英語
兼担	准教授	山本 偉裕 (55) ＜令和2年4月＞ [illegible]	[illegible] [illegible]理学
兼任	講師	春日 [illegible] (49) ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）	人間関係論
兼担	講師	[illegible] (59) ＜令和5年4月＞ [illegible]	[illegible]生理学Ⅱ
兼任	講師	伊藤 冬子 (45) ＜令和6年4月＞ [illegible]	心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 <年齢> <就任（予定）年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大倉 健宏 (55) <平成30年4月> 修士（社会学）	社会学
兼任	講師	望月 重信 (77) <平成30年4月> [illegible]	文化人類学
兼任	講師	目谷 伸 (65) <平成30年4月>	法学
兼任	講師	高橋 昌一郎 (61) [illegible]	論理学
兼任	講師	藤本 研 (48) <平成30年4月> [illegible]	スポーツ科学
兼任	講師	辻 泰弘 (64) <平成30年4月> 学士（教養）	社会保障制度概論 保健医療福祉システム論
兼任	講師	仮屋 美妙乃 (56) <平成30年4月>	情報リテラシー
兼任	講師	日隈 沙也香 (31) [illegible]	[illegible]英語Ⅰ 実用英語Ⅱ
兼任	講師	阪口 塁 (31) [illegible]	[illegible]英語Ⅰ 実用英語Ⅱ [illegible]・看護英語
兼任	講師	何 欣璇 (28) [illegible]	[illegible] 実用英語Ⅱ
兼任	講師	[illegible]厚 知樹 (54) <平成30年4月> 修士(学術)	[illegible]英語Ⅰ [illegible]英語Ⅱ [illegible]・看護英語
兼任	講師	李 芳城 (57) <平成30年4月> 修士（商学）	中国語
兼任	講師	武田 祐治 (48) <平成30年4月> [illegible]	スペイン語
兼任	講師	[illegible] 大 (66) [illegible]	[illegible]学概論
兼任	講師	山田 和昭 (70) <平成30年4月> 学士(医学)	病理学
兼任	講師	吉川 邦衛 (57) [illegible]	生化学
兼任	講師	宇田川 悦子 (71) <平成30年4月> [illegible]	[illegible]生物学
兼任	講師	大橋 貴夏 (42) [illegible]	薬理学
兼任	講師	林 茂樹 (72) <平成30年4月>	[illegible]と治療Ⅰ
兼任	講師	竹迫 直樹 (56) <平成30年4月>	[illegible]と治療Ⅱ
兼任	講師	清水 茂雄 (58) <平成30年4月> [illegible]	[illegible]と治療Ⅱ
兼任	講師	古川 夏樹 (57) <平成30年4月>	[illegible]と法
兼任	講師	朝妻 孝仁 (67) [illegible]	[illegible]と治療Ⅲ
兼任	講師	新谷 正人 (66) [illegible]	[illegible]と治療Ⅲ
兼任	講師	Hywel Evans (63) <平成30年4月> 博士（言語学）	[illegible]・看護英語
兼任	講師	新田 功 (67) [illegible]	[illegible]学
兼任	講師	奥山 康男 (67) [illegible]	人間工学
兼任	講師	高尾 晶子 (51) <平成30年4月> [illegible]	[illegible]と治療Ⅴ
		山下 勇弘 [illegible]	

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 <年齢> <就任（予定）年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大倉 健宏 (57) <令和2年4月> 修士（社会学）	[illegible]会学
兼任	講師	望月 重信 (79) <令和2年4月> 修士（教育学）	文化人類学
兼任	講師	斎藤 和樹 (49) <令和4年10月> [illegible]	[illegible]学
兼任	講師	山崎 紗紀子 (36) <令和2年4月> 博士（[illegible]）	論理学
兼任	講師	野中 俊英 (36) <令和4年4月> 修士（体育科学）	スポーツ科学
兼任	講師	辻 [illegible] (66) <令和2年4月> 学士（教養）	社会保障制度概論 保健医療福祉システム論
兼任	講師	仮屋 美妙乃 (58) <令和2年4月>	情報リテラシー
兼任	講師	リュウ イージャー (27) <令和4年4月> 修士（[illegible]）	実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用医療・看護英語
兼任	講師	[illegible]厚 知樹 (56) <令和2年4月> 修士(学術)	[illegible] 実用英語Ⅱ [illegible]・看護英語
兼任	講師	李 芳城 (59) <令和2年4月> 修士（商学）	中国語
兼任	講師	武田 祐治 (50) <令和2年4月> [illegible]	スペイン語
兼任	講師	山田 和昭 (72) <令和2年4月> 学士(医学)	[illegible]学
兼任	講師	宇田川 陽秀 (41) <令和4年4月> 博士（代謝学）	生化学
兼任	講師	宇田川 悦子 (72) <令和2年4月> [illegible]	微生物学
兼任	講師	栗島 [illegible] (65) <令和4年4月> [illegible]	薬理学
兼任	講師	小野 圭一 (64) <令和4年4月>	[illegible]病と治療Ⅰ
兼任	講師	関口 直宏 (50) <令和4年5月> 博士(医学)	[illegible]剖生理学Ⅰ [illegible]理学
兼任	講師	清水 茂雄 (60) <令和2年4月> 学士(医学)	[illegible]と治療Ⅱ
兼任	講師	清水 美智夫 (67) <令和3年4月> 学士（法学）	[illegible]と法
兼任	講師	谷戸 祥之 (59) <令和4年4月>	疾病と治療Ⅲ
兼任	講師	武田 貴裕 (49) <令和2年4月> 学士(医学)	[illegible]と治療Ⅲ
兼任	講師	高橋 [illegible] (32) <令和4年4月> 修士（言語学）	実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用医療・看護英語
兼任	講師	新田 功 (68) [illegible]	[illegible]
兼任	講師	大谷 肇 (62) <令和2年4月> [illegible]	人間工学
兼任	講師	高尾 晶子 (53) <令和2年4月> [illegible]	[illegible]と治療Ⅴ
		山下 勇弘 [illegible]	

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 <年齢> <就任（予定）年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大倉 健宏 (58) <令和2年4月> 修士（社会学）	社会学
兼任	講師	望月 重信 (80) <令和2年4月> 修士（教育学）	文化人類学
兼任	講師	斎藤 和樹 (50) <令和4年4月> 学士（法学）	[illegible]学
兼任	講師	山崎 紗紀子 (37) <令和2年4月> 博士（文学）	[illegible]理学
兼任	講師	野中 俊英 (37) <令和4年4月> 修士（体育科学）	[illegible]ポーツ科学
兼任	講師	辻 泰弘 (67) <令和2年4月> 学士（教養）	社会保障制度概論 保健医療福祉システム論
兼任	講師	福田 文永 (54) <令和5年4月> 学士（経済学）	[illegible]リテラシー
兼任	講師	リーカーフイ (28) <令和5年4月> 修士（文化資源学）	実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ [illegible]用医療・看護英語
兼任	講師	[illegible]厚 知樹 (57) <令和2年4月> 修士(学術)	[illegible]英語Ⅰ [illegible] [illegible]・看護英語
兼任	講師	李 芳城 (60) <令和2年4月> 修士（商学）	[illegible]語
兼任	講師	武田 祐治 (51) <令和2年4月> [illegible]	スペイン語
兼任	講師	平野 和彦 (47) <令和5年4月> 博士(医学)	[illegible]理学
兼任	講師	宇田川 陽秀 (42) <令和4年4月> 博士（代謝学）	[illegible]化学
兼任	講師	宇田川 悦子 (73) <令和2年4月> [illegible]	[illegible]物学
兼任	講師	柳竹宏之 (61) <令和5年4月> [illegible]	臨床薬理学演習
兼任	講師	板倉 潤 (53) <令和5年4月> 博士(医学)	疾病と治療Ⅰ
兼任	講師	関口 直宏 (51) <令和5年4月> 博士(医学)	解剖生理学Ⅰ 病理学 疾病と治療Ⅱ
兼任	講師	清水 茂雄 (61) <令和2年4月> [illegible](医学)	疾病と治療Ⅱ
兼任	講師	清水 美智夫 (68) <令和3年4月> 学士（法学）	[illegible]と法
兼任	講師	谷戸 祥之 (60) <令和5年4月> 博士(医学)	[illegible]と治療Ⅲ 解剖生理学Ⅰ
兼任	講師	武田 貴裕 (50) <令和2年4月> 学士(医学)	[illegible]と治療Ⅲ
兼任	講師	Hywel Evans (66) <令和5年4月> 博士（言語学）	実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ [illegible]用医療・看護英語
兼任	講師	大谷 肇 (63) <令和2年4月> [illegible]	人間工学
兼任	講師	高尾 晶子 (54) <令和2年4月> [illegible]	[illegible]と治療Ⅴ
		山下 勇弘 [illegible]	

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 <年齢> <就任（予定）年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大倉 健宏 (59) <令和2年4月> 修士（社会学）	[illegible]社会学
兼任	講師	望月 重信 (81) <令和2年4月> 修士（教育学）	文化人類学
兼任	講師	斎藤 和樹 (51) <令和4年4月> 学士（法学）	[illegible]学
兼任	講師	山崎 紗紀子 (38) <令和2年4月> 博士（[illegible]）	[illegible]理学
兼任	講師	武田 [illegible] (78) <令和6年4月> 修士（体育科学）	スポーツ科学
兼任	講師	辻 泰弘 (68) <令和2年4月> 学士（教養）	[illegible]会保障制度概論 保健医療福祉システム論
兼任	講師	福田 文永 (55) <令和5年4月> 学士（経済学）	[illegible]リテラシー
兼任	講師	呉石果佳 (79) <令和6年4月> 修士（教育学）	実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用医療・看護英語
兼任	講師	[illegible]厚 知樹 (58) <令和2年4月> 修士(学術)	[illegible]英語Ⅰ [illegible]英語Ⅱ [illegible]・看護英語
兼任	講師	李 芳城 (61) <令和2年4月> 修士（商学）	中国語
兼任	講師	武田 祐治 (52) <令和2年4月> [illegible]	スペイン語
兼任	講師	平野 和彦 (48) <令和5年4月> 博士(医学)	病理学
兼任	講師	宇田川 陽秀 (43) <令和4年4月> 博士（代謝学）	生化学
兼任	講師	宇田川 悦子 (73) <令和2年4月> [illegible]	微生物学
兼任	講師	柳竹宏之 (61) <令和5年4月> 博士(医学)	臨床薬理学演習
兼任	講師	板倉 潤 (54) <令和5年4月> 博士(医学)	[illegible]病と治療Ⅰ
兼任	講師	関口 直宏 (52) <令和5年4月> 博士(医学)	[illegible]剖生理学Ⅰ 病理学 [illegible]病と治療Ⅱ
兼任	講師	清水 茂雄 (62) <令和2年4月> [illegible]	[illegible]と治療Ⅱ
兼任	講師	清水 美智夫 (69) <令和3年4月> 学士（法学）	[illegible]と法
兼任	講師	谷戸 祥之 (61) <令和5年4月> 博士(医学)	[illegible]と治療Ⅲ [illegible]剖生理学Ⅰ
兼任	講師	武田 貴裕 (51) <令和2年4月> 学士(医学)	疾病と治療Ⅲ
兼任	講師	Hywel Evans (67) <令和5年4月> 博士（言語学）	実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用医療・看護英語
兼任	講師	吉村 健吾 (54) <令和6年4月> [illegible]	人間工学
兼任	講師	高尾 晶子 (55) <令和2年4月> [illegible]	[illegible]と治療Ⅴ
		山下 勇弘 [illegible]	

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 <年齢> <就任（予定）年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大倉 健宏 (60) <令和2年4月> 修士（社会学）	社会学
兼任	講師	望月 重信 (82) <令和2年4月> 修士（教育学）	文化人類学
兼任	講師	斎藤 和樹 (52) <令和4年4月> 学士（法学）	[illegible]学
兼任	講師	山崎 紗紀子 (39) <令和2年4月> 博士（文学）	論理学
兼任	講師	武田 [illegible] (79) <令和6年4月> 修士（体育科学）	[illegible]ポーツ科学
兼任	講師	辻 泰弘 (69) <令和3年4月> 学士（教養）	社会保障制度概論 保健医療福祉システム論
兼任	講師	福田 文永 (56) <令和5年4月> 学士（経済学）	[illegible]リテラシー
兼任	講師	呉石果佳 (80) <令和6年4月> 修士（教育[illegible]）	[illegible]用英語Ⅰ [illegible]用英語Ⅱ [illegible]用医療・看護英語
兼任	講師	[illegible]厚 知樹 (56) <令和2年4月> 修士(学術)	[illegible] [illegible]英語Ⅱ [illegible]・看護英語
兼任	講師	李 芳城 (62) <令和2年4月> 修士（商学）	[illegible]国語
兼任	講師	[illegible] 祐治 (53) <令和2年4月> [illegible]	スペイン語
兼任	講師	平野 和彦 (48) <令和6年4月> 博士(医学)	[illegible]理学
兼任	講師	宇田川 陽秀 (44) <令和4年4月> [illegible]	[illegible]化学
兼任	講師	宇田川 悦子 (74) <令和2年4月> [illegible]	[illegible]物学
兼任	講師	柳竹宏之 (61) <令和6年4月> 博士(医学)	[illegible]床薬理学演習
兼任	講師	板倉 潤 (54) <令和6年4月> 博士(医学)	[illegible]と治療Ⅰ
兼任	講師	清水 茂雄 (63) <令和2年4月> [illegible]	疾病と治療Ⅱ
兼任	講師	清水 美智夫 (70) <令和3年4月> 学士（法学）	[illegible]と法
兼任	講師	谷戸 祥之 (62) <令和5年4月> 博士(医学)	疾病と治療Ⅲ
兼任	講師	武田 貴裕 (51) <令和2年4月> 学士(医学)	[illegible]と治療Ⅲ
兼任	講師	Hywel Evans (67) <令和6年4月> 博士（言語学）	[illegible]用英語Ⅰ [illegible]用英語Ⅱ [illegible]用医療・看護英語
兼任	講師	吉村 健吾 (55) <令和6年4月> [illegible]	人間工学
兼任	講師	高尾 晶子 (56) <令和2年4月> [illegible]	疾病と治療Ⅴ
		山下 勇弘 [illegible]	

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 / 担当授業科目名
専任	講師	<平成2[illegible]年4月> 博士(医学) / [illegible]と治療Ⅱ
専任	講師	田中 由美子 (50) <平成2[illegible]年4月> / [illegible]床栄養学演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 / 担当授業科目名
専任	講師	<令和2年4月> 博士(医学) / [illegible]と治療Ⅱ
専任	講師	[illegible] 佐恵子 (60) <令和3年4月> / [illegible]床栄養学演習
兼任	講師	宮本 新 (52) <令和4年4月> 博士(神学) / [illegible]生学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 / 担当授業科目名
専任	講師	<令和2年4月> 博士(医学) / 疾病と治療Ⅱ
兼任	講師	神谷 しげみ (51) <令和5年4月> 博士(医学) / [illegible]床栄養学演習
兼任	講師	宮本 新 (53) <令和4年4月> 博士(神学) / 死生学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 / 担当授業科目名
専任	講師	<令和2年4月> 博士(医学) / [illegible]と治療Ⅱ
兼任	講師	神谷 しげみ (52) <令和5年4月> [illegible](医学) / 臨床栄養学演習
兼任	講師	宮本 新 (54) <令和4年4月> 博士(神学) / 死生学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 / 担当授業科目名
専任	講師	<令和2年4月> 博士(医学) / [illegible]と治療Ⅱ
兼任	講師	神谷 しげみ (53) <令和5年4月> [illegible](医学) / [illegible]床栄養学演習
兼任	講師	宮本 新 (55) <令和4年4月> 博士(神学) / [illegible]生学

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報を記入してください。)
- 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(専任、兼担教員を含む。)を漏れなく記入してください。
その上で、各年度については、[illegible]
- 年齢は、[illegible]を記入してください。
- 専任(専門職大学等の場合、実務家(研究・実務))・兼担、兼任の順に記入してください。
- 不要な年度(令和6年度報告であれば令和5年度以前)の欄は適宜削除してください。
指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和４年度】

○専任教員に関する変更
・田野将尊准教授の就任辞退により柳橋正智講師が就任
・黒澤範子講師から准教授に就任
・テイラー栄子講師から准教授に就任
・折元美雪助教から講師に就任
・泥谷朋子助手から助教に就任
・大場久美助手から助教に就任
・吉川助教の姓が村田に変更

○兼担教員・兼任に関する変更
・解剖生理学Ⅰ：兼担高野海哉講師就任辞退により兼担早川隆宣講師に変更
・解剖生理学Ⅱ：兼担高野海哉講師就任辞退により兼担土井庄三郎講師に変更
・スポーツ科学：兼任根本研講師就任辞退により兼担野中俊英講師に変更
・実用英語Ⅰ、実用英語Ⅱ、実用医療・看護英語：兼任PIJANOWSKA　MARUTA講師就任辞退により、兼担リュウ　イージャー講師に変更
・実用英語Ⅰ、実用英語Ⅱ、実用医療・看護英語：兼任Hywel Evans講師就任辞退により、兼担高橋杏紗講師に変更
・薬理学：兼担久保田篤司講師就任辞退により兼担軍司剛宏講師に変更
・疾病と治療Ⅰ：兼担林茂樹就任辞退によりに兼担小野圭一講師に変更

【令和５年度】

○専任教員に関する変更
・山西文子教授の就任辞退により長田恵子教授が就任(学部長)
・衣川さえ子教授の就任辞退により内田貴峰准教授が就任
・桜井礼子教授が定年退職
・吉田奈々絵助手が就任
・柳橋正智講師の就任辞退により阿川かなえ助教が就任
・黒澤範子准教授の就任辞退により小平明日香講師が就任
・宍戸路佳講師が准教授に就任
・今井淳子助教の就任辞退により渡邊はる美助手が就任
・小川賀恵助教が講師に就任
・武居尚子助教の就任辞退により濵嵜信恵助教が就任
・松山妙子助教が講師に就任
・三浦由紀子助教が講師に就任
・土井庄三郎兼任講師が専任教授に就任
・榊原知樹兼任講師が専任講師に就任

○兼担教員・兼任に関する変更
・解剖生理学Ⅱ及び病理学を新たに榛澤望講師が担当
・疾病と治療Ⅲ及び病理学を新たに早川隆宣講師が担当
・仮屋美弥乃講師の就任辞退より福田太志講師が情報リテラシーを担当
・リュウイージャー講師の就任辞退によりリーカーフイ講師が実用英語Ⅰ、実用英語Ⅱ、実用医療・看護英語を担当
・疾病と治療Ⅱを新たに関口直宏講師が担当
・解剖生理学Ⅰを新たに谷戸祥之講師が担当
・高橋杏紗講師の就任辞退によりHywel Evans講師が実用英語Ⅰ、実用英語Ⅱ、実用医療・看護英語を担当
・小林佐衣子講師の就任辞退により須原将広講師が臨床栄養学演習を担当
・死生学(新カリ科目)を担当する宮本新講師が新たに就任

【令和６年度】

○専任教員に関する変更
・内田貴峰准教授の就任辞退により及川裕子教授が就任
・内藤亜由美准教授の就任辞退により宗澤紀子准教授が就任
・テイラー栄子准教授の就任辞退により牧千亜紀准教授が就任
・三浦由紀子講師の就任辞退により吉田茜助手が就任
・阿川香苗助教が就任辞退
・川島悠講師が就任
・皆田良子が就任
・永澤眞助手が就任

○兼担教員・兼任に関する変更
・リーカーフイ講師の就任辞退により奥石采佳講師が実用英語Ⅰ、実用英語Ⅱ、実用医療・看護英語をを担当
・野中俊英講師の就任辞退により武田義也講師がスポーツ科学を担当

【令和７年度】

○専任教員に関する変更
・令和6年12月苅田明子助教が退職
・令和7年3月土井庄三郎専任教授が退職
・令和7年3月及川裕子教授が退職
・令和7年3月小平明日香講師が退職
・令和7年3月皆田良子講師が退職
・令和7年3月折元美雪講師が退職
・令和7年3月岩渕起江講師が退職
・令和7年3月片岡大己助手が退職

・令和7年4月永澤眞助手が助教に昇格
・令和7年4月吉田茜助手が助教に昇格

○兼担教員・兼任に関する変更
・令和6年3月土井庄三郎専任教授が退職、後任は同様に土井庄三郎講師が就任し「医学概論」と「生理解剖学Ⅰ」を担当

(注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してくださ
・ 不要な年度（令和６年度開設であれば令和５年度以前）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（注）・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「（２）-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「（２）-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

（２）ー① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

（注）・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

（２）ー② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	助手（A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	助手（B'）
8	9	7	10	34	6	5	6	6	4	22	1
[7]	[9]	[7]	[12]	[35]	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	助手（C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	助手（D'）
9	8	7	10	34	0	5	6	6	4	22	1
[1]	[△1]	[ ]	[ ]	[ ]	[△6]	[△ 2]	[±0]	[△ 2]	[△ 6]	[△ 5]	[△ 2]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）ー③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	1 名	1 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）ー④ 設置時の計画に対する教員充足率

数式が入力されています。

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{34}{34} = 100\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成

数式が入力されています。

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{1}{22} = 4.54\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

数式が入力されています。

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{6} = 0\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	土井庄三郎	R6.3	必修	医学概論	①	R7.3 一身上の都合により就任辞退
				必修	解剖生理学Ⅰ	①	
				必修	小児看護学実習	①	
2	准教授	及川裕子	R7.3	必修	母性看護実践論	①	R7.3 一身上の都合により就任辞退
				必修	災害看護学に関する卒業研究	①	
				必修	母性看護学概論	①	
				必修	英語論文のｸﾘﾃｨｰｸ	①	
				必修	看護学統合実習	①	
3	講師	小平明日香	R7.3	必修	母性看護実践論	①	R7.3 一身上の都合により就任辞退
				必修	災害看護学に関する卒業研究	①	
				必修	母性看護学概論	①	
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	母性看護学実習	①	
				必修	看護学統合実習	①	
4	講師	皆田良子	R7.3	必修	老年看護実践論	①	R7.3 一身上の都合により就任辞退
				必修	成人看護/老年看護実践論	①	
				必修	災害看護学に関する卒業研究	①	
				必修	語論文のｸﾘﾃｨｰｸ	①	
				必修	老年看護学実習Ⅰ	①	
				必修	老年看護学実習Ⅱ	①	
				必修	看護学統合実習	①	
5	講師	折元美雪	R7.3	必修	老年期看護論	①	R7.3 一身上の都合により就任辞退
				必修	老年看護実践論	①	
				必修	成人看護/老年看護実践論	①	
				必修	災害看護学に関する卒業研究	①	
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	老年看護学実習Ⅰ	①	
				必修	成人看護学実習Ⅱ	①	
				必修	老年看護学実習Ⅱ	①	
				必修	看護学統合実習	①	
6	講師	岩渕起江	R7.3	必修	在宅看護学概論	①	R7.3 一身上の都合により就任辞退
				必修	在宅看護実践論Ⅱ	①	
				必修	災害看護学に関する卒業研究	①	
				必修	地域・在宅看護学概論	①	
				必修	地域・在宅看護支援論	①	
				必修	自立支援教育論	①	
				必修	疾病予防看護学	①	
				必修	地域・在宅看護実践論Ⅰ	①	
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	在宅看護学実習	①	
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	医療安全学	①	
7	助教	苅田明子	R6.12	必修	急性期看護論	①	R6.12 一身上の都合により就任辞退
				必修	成人・老年看護実践論	①	
				必修	災害看護学に関する卒業研究	①	
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	成人看護学実習Ⅰ	①	
				必修	成人看護学実習Ⅱ	①	
				必修	成人看護学実習Ⅲ	①	
				必修	看護学統合実習	①	
合計（D）						後任補充状況の集計（E）	

就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
7　人	必修	50	科目	必修	50 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	50	科目	計	50 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。

・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当者なし					

合計（F）				後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③ 上記（３）－① ・ （３）－② の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
7 人	必修	50	科目	必修	50	科目	必修	50	科目	必修	50	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	50	科目	計	50	科目	計	50	科目	計	50	科目

（３）－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{7}{29} = 24.13\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当者なし				

合計				後任補充状況の集計								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0 人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

現在までに、教授1名、准教授1名、講師4名、助教1名、合計7名の教員が一身上の都合等により就任を辞退されたが、教育に支障を生じないよう後任の補充に努めている。なお、講師及び助教の担当科目については科目責任者の教授をはじめ複数の教員で担当しているため教育に支障を生じないと考える。また、医療の高度化、複数化に伴い、看護学専門領域の教育の充実を図るため教員を増員した。
学生への周知については履修ガイダンスやシラバス更新により周知している。

（注）・ 上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （令和元年4月）	該当なし				
（令和2年4月）	該当なし				
（令和3年4月）	該当なし				
（令和4年4月）	該当なし				
（令和5年4月）	入学者選抜の適切な実施等を通じ，収容定員超過の改善に努めること。	【ＡＣ】 指摘事項 （改善）	収容定員400人に対し令和4年度460人、令和5年度456人と入学者選抜等により定員超過に改善に取り組んでいる。	履行中	引き続き、入学者選抜等により収容定員超過の改善に取り組む。
（令和6年4月）	入学者選抜の適切な実施等を通じ，収容定員超過の改善に努めること。	【ＡＣ】 指摘事項 （改善）	収容定員400人に対し令和5年度456人、令和6年度474人と入学者選抜等により定員超過に改善に取り組んでいる。	履行済	引き続き、入学者選抜等により収容定員超過の改善に取り組む。

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和６年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和６年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

【令和６年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和６年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。

【令和７年度から新たに調査対象となった学科等又は令和６年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7　その他全般的事項

＜東京医療保健大学東が丘看護学部　看護学科＞

（1） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

（注）・ １～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

東京医療保健大学立川看護学部FD委員会規程（別途添付）に基づき、立川看護学部にFD委員会を設置済

東京医療保健大学立川看護学部ＦＤ委員会規程　（設置）　第１条 立川看護学部の教員の資質の維持向上を図るため、立川看護学部Ｆ　Ｄ委員会（以下「委員会」という）を設置する。
（任務）　第２条 委員会は、授業内容・方法の改善を図るとともに、教員個々人の教育力・ 研究力の維持向上を図る。さらに、大学運営に対する意識の啓発や学生支援 のあり方等に関する研修会等を実施し大学教員としての専門的な能力を高め ることを目的とする。
（構成）　第３条 委員会は次の者をもって構成する。　（１）立川看護学部教授会において任命する教員　（２）立川事務部長　（３）学部長は必要に応じ出席することができる　（４）委員長が必要と認めるときは、委員以外のメンバーを出席させ、意見 等を聴取することができる
（審議事項）　第４条 委員会は次の事項を審議する。　（１）授業内容・方法の改善。　（２）研究推進体制の整備。（３）各種研修会、研究会の実施。　（４）外部研究費の導入の推進。　（５）職員研修会等の実施。　（６）その他ＦＤに関すること。
（委員長等）　第５条 委員会には委員長及び副委員長を置く。
（議事）　第６条 委員長は、委員会を招集し、議長となる。
（開催日）　第７条 委員会は、原則として月１回開催する。
附則 本規程は令和２年４月１日から施行す

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

8月を除き毎月一回の開催であり、委員は全員参加が原則である。

ｃ　委員会の審議事項等

上記規程の通り
（１）授業内容・方法の改善。
（２）研究推進体制の整備。
（３）各種研修会、研究会の実施。
（４）外部研究費の導入の推進。
（５）職員研修会等の実施。
（６）その他ＦＤに関すること。

②　実施状況

ａ　実施内容

①4.24（木）新着任教員研修
テーマ：「委員会活動とFD研修について」
②6.27（木）新着任教員研修
テーマ：「教学マネージメントに基づいた実習評価について等」
③8.27（月）第3回
テーマ：「コンピテンシー基壇教育に実現に向けた取り組み」
④9.26（水）第4回
テーマ：（ア）教育マネジメント指針に基づく授業運営にあたり、修学カルテ（ポートフォリオ）と科目ルーブリック（講義、演習科目）の運用方法について共通理解をはかる。
（イ）学部運営並びに教員のPDCAを円滑に行い、教育の拡充に役立つ運用方法の共通認識及び意見交換を行う。
⑤2.20（火）第5回
テーマ：「講義・演習のルーブリック評価について」

ｂ　実施方法

対面、及び遠隔参加講習

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

新任研修に関しては対象者全員が参加、その後の３回の研修会については各３０名程度の教員が参加した。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

受講の結果、教員それぞれが自らの授業の振り返りや講義によって得た新たな気づきに基づき、授業設計にあたっての考え方や授業内容、授業の進め方を見直すきっかけとなっている。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

例年実施しており、6年度においても各セメスター最終授業日に実施している。

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

・ホームページ等で公開している。また、各授業の結果については科目責任者教員に配布している。

(注)・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

指導教員や実習施設の実習指導者が熱心な指導をしてきた結果、高度な判断力と実践力の修得に係る立川看護学部の学生の評価は、極めて満足のいくレベルにあり、平成6年度の看護師国家試験合格率は99.1%、卒業後の進路も全員が就職、または進学と堅調であり、教員も学生も最終目標に近づいていると考えている。今年度から看護技術のチェックリストはポートフォリオ入力し、その都度データーが集計されて実習施設での途中経過が解る様になり、大変便利に活用できるようになった。今後とも学生の主体性や計画的な活動を促しつつ良質な教育の提供を継続していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

例年教育研究等の状況について自己点検・評価後、それぞれ報告書を取りまとめ公表しており、
今年度も報告書を取りまとめている段階。公表予定は5月末としている。

b 公表方法

点検・評価報告書については、本学の大学経営会議及び理事会・評議員会において審議・承認を経た後、
ホームページ上に公開している。

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和７年に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和７年度）

a 公表予定の有無 〔 有 ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後１ヶ月以内 ・ 公表後２～３ヶ月以内 ・ 公表後３ヶ月以降 〕

c 公表方法 〔 ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。